PLUS

デジタルプロジェクタ

V-339

取扱説明書

保証書別添付

このたびは プラス　デジタルプロジェクタ をお買いあげいただきありがとうございました。

ご使用の前に、本機の機能を十分生かしてご利用いただくために、この「取扱説明書」を最後までお読みください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一、ご使用中にわからないことや不具合が生じたときには、この「取扱説明書」をお読みください。

＊DLP™（Digital Light Processing）は、米国テキサスインスツルメンツ社の登録商標です。
＊VGA、XGAは米国International Business Machines Corporationの商標または登録商標です。
＊S-VGAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
＊Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
＊Macintoshは米国Apple Computer Inc.の商標です。
＊Adobe Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

注　意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2） 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
（4） 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

主な特長

■ベストセラー モバイル・プロジェクタの進化

いつでも、どこでも持ち運び出来るモバイル・プロジェクタの使い勝手をさらに向上させました。小型・軽量タイプでありながら、1300lmの高輝度と高コントラスト比2000:1を実現しています。新開発の回転式レンズカバー、オートキーストーンによりスピーディーな設置投影を実現、クイックオフ機能によりプレゼンテーション終了後プロジェクタの電源をすぐ切り、すばやく片付けることが出来ます。

■DCM「デュアルカラーモード」搭載

業界初、小型プロジェクへ「デュアルカラーモード」機能を搭載した次世代小型プロジェクタです。2枚のカラーホイールを使用シーンに応じて最適に組み合わせることにより、色再現性を大幅に向上させました。

■鮮明でクリアな画像

DLP™方式を採用したことによりRGBの色ズレがなく、ひとつひとつのドット（点）の隙間が目立たないので、小さな文字や図表などをくっきりと明瞭に表示します。

■2000：1のハイコントラスト比を実現

新世代のDMDデバイスを採用したことにより、驚異の2000：1のハイコントラスト比を実現。
黒と白の明るさの差を広げたことにより、スペック上の明るさ以上の鮮明度をご覧いただけます。

■プレゼンテーションに威力を発揮するさまざまな機能を搭載

セッティング時の画像の歪みを補正するデジタルキーストーン補正機能をはじめ、PCの信号を自動判別するオートアジャストメント機能などさまざまなイージーセッティング機能を搭載。
さらにプレゼンテーションをサポートするプレゼンタイマーを内蔵しています。

■DLP Cinema技術と同じ原理で、動画再生に強みを発揮。

映画館での上映時に使用されるDLP Cinemaと同じ素質を持つ、プラスのDLP方式プロジェクタ。応答速度が極めて早いため、スポーツや映画など動きのある画像も流れにくく、スムーズな映像で楽しむことができます。

■セキュリティロック機能搭載

プロジェクタ立上げ時にパスワードの入力を求めるように設定できます。正しいパスワードを入力しなければ、電源のON／OFF以外の操作ができませんので、いたずらや無断使用の防止に効果的な機能です。

■ランプ出力にエコモード切替機能を搭載

ランプエコモードをご利用いただくことで、ランプの寿命を延長し、消費電力も低減します。
ご使用の環境に合わせてモードを切り替えていただくことで、ランプコストを節約し省エネやエコロジーにも貢献します。

目　次

準備と予備知識

主な特長 3
目次 4
安全のために必ずお守りください 6
ご使用の前に 6
警告 7
注意 9
使用上のお願い 11
付属品を確認する 12
本体各部のなまえ 13
盗難防止用ロックについて 14
リモコン各部のなまえ 15
リモコンを準備する 16
ボタン電池交換のしかた 16
リモコンの受光可能範囲 16

設置と投映

スクリーンに投映するまでの手順 17
設置の目安 18
画面サイズと投映距離 18
パソコンや映像機器を接続する 19
パソコンとの接続 19
ノートパソコンの外部出力信号を出力するには 20
コンポジット信号との接続 21
映像機器が映像端子の場合 21
映像機器がS映像端子の場合 21
コンポーネント信号との接続 22
映像端子がYCbCr端子または YPbPr端子の場合 22
AUDIO端子との接続 23
電源コードの接続と入／切 24
使うとき 24
電源を入れたとき［メニュー言語選択］ が表示された場合 25
終わったとき 26
投映画面の調整 27
投映画面を調整する 27
アジャスタ調整のしかた 28

ふだんの操作

ふだんの操作 29
入力の選択 29
自動調整 29
アスペクト比の選択 30
動画を静止画にする 31
画像と音声を一時消去する 31
ランプモードの選択 31
カラーモードの選択（DCM） 31
キーストーンの手動調整 32
ボリュームの調整 32
映像の拡大と画像移動 33
プレゼンテーションタイマーを使う 34
プロジェクタをセキュリティで保護する 35
パスワード登録のしかた 35
電源を入れたときパスワード表示入力されたとき 36
パスワードを解除する／パスワードを変更する 36
クイックメニューを使う 37

メニュー操作の方法

メニュー操作の方法 38
メニュー操作で使うボタンの 名称とはたらき 38
メニュー画面の名称とはたらき 39
メニュー操作のしかた 40
メニュー表示中に他のメニュー名を 選択する場合 42
入力選択と調整／設定可能な 項目名の一覧表 43

調整と設定

映像 45
明るさ／コントラスト／カラー／ 色相／シャープネス 45
クロック周波数／位相／水平位置／垂直位置 45
クロック周波数 45
位相 46
水平位置 46
垂直位置 46
リセット 46

カラー.....47
デュアルカラーモード.....47
ガンマ.....47
色温度.....48
ホワイト.....48
カラースペース.....48
ホワイトバランス.....49
画面.....50
アスペクト.....50
フィルタ.....50
上下反転／左右反転.....51
キーストーン.....51
オートキーストーン.....51
設定.....52
オートソース.....52
省電力.....52
メニュー位置.....52
ランプモード.....53
入力設定.....53
プレゼンタイマー.....54
ボリューム.....54
オプション.....55
言語.....55
表示切替.....55
バックグラウンド.....55
起動画面.....56
セキュリティロック.....56
情報.....57
ステータス.....57
初期化.....57
ランプ使用時間リセット.....57
周波数／解像度.....58
ランプ使用時間.....58

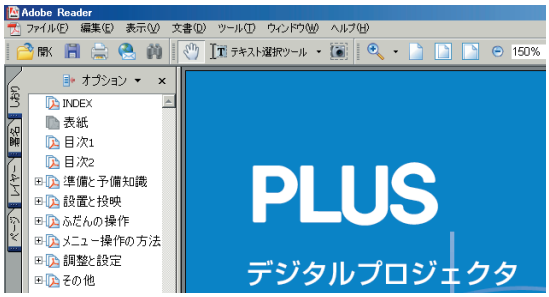
その他

インジケータが点灯／点滅しているときは.....59
故障かな？と思ったら.....60
お手入れについて.....62
ランプカートリッジの交換.....63
仕様.....66
対応周波数一覧表.....67
外観図.....68
アフターサービス.....69

取扱説明書のリンクについて

この取扱説明書はアドビシステムズ社のAdobe Acrobatで作成されています。
操作のしかたは“Adobe Readerヘルプ”をご覧ください。
プロジェクタの取扱説明書は次のようにページの移動ができます。

- しおりにはリンクが張られています。しおり欄の目的の見出し名をクリックするとそのページに飛びます。



- 取扱説明書の目次ページと、本文中の➜00ページと青色になっている参照ページにはリンクが張られています。手アイコンを参照ページ上に合わせるとアイコンに変わります。マウスをクリックするとそのページにジャンプします。

  ウィンドウの下部にあるステータスバーのボタンをクリックするとジャンプ元（1つ前の状態）に戻ります。

安全のために必ずお守りください

《ご使用の前に》

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の意味

△ この記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。
図の中に具体的な注意内容（右図の場合は感電注意）が描かれています。

⊘ この記号はしてはいけないことを表しています。
図の中に具体的な禁止内容（右図の場合は分解禁止）が描かれています。

● この記号はしなければならないことを表しています。
図の中に具体的な指示内容（右図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁やラック(棚)などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったリしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、販売店または弊社「カスタマーセンター」に交換をご依頼ください。

分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があります。キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の調整や設定、点検、修理は販売店または弊社「カスタマーセンター」にご依頼ください。

高温注意

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となります。ランプ交換の際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、60分以上たって充分にランプが冷えてから行ってください。

禁止

レンズをのぞかない

投映中にプロジェクタのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、販売店または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

禁止

次のようなところでは使用しない

火災・感電の原因となります。

- 本機を暖房の近くや振動の多い所。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 油煙や湿気の当たるような場所。(調理台や加湿器のそばなど)

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

⚠警告

定格電圧以外
使用禁止

表示以外の電圧で使用しない

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

水場や水にぬれるような所には置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

電源プラグ
をコンセント
から抜く

故障したままの使用はしない

万一、煙が出ている・変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに電源を切り、そのあと必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから販売店または弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

すぐ修理
依頼を

取扱説明書に従って正しく使用してもなお画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

禁止

排気孔、吸気孔をふさがない

排気孔､吸気孔をふさぐと内部に熱がこもり､火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。
風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 周囲の壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- たてて使用しない。

電源プラグ
をコンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となります。

禁止

プロジェクタの上に水が入った物を置かない

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

⚠警告

電源プラグ
をコンセントから抜く

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。
感電の原因になります。

電源プラグの刃および刃の付近の付着物はとる

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

禁止

電源プラグを
コンセントから抜く

電源コード・電源プラグについて

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブル、転倒防止をはずしたことを確認の上、行ってください。接続したまま移動させるとコードに傷が付き、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。
- 電源コードは本製品以外の製品には転用しないでください。

部品割れは
修理依頼を

部品が割れた際は修理依頼を

本機内部にはレンズやフィルタ、ランプなどのガラス部品を多数使用しています。
万一、部品が割れた際には、破片でけがなどをしないように取り扱いに注意し、販売店または弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。

無理な扱いは
しない

収納ケースの取扱上のご注意

本機を入れて振り回さないでください。また、無理なサイズのものは入れないでください。
本機の傷や故障の原因になることがあります。

⚠注意

内部の掃除は
販売店で

点検・工事について

1年に一度くらいは内部の掃除を販売店または弊社「カスタマーセンター」などにご相談ください。
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用につきましては販売店または弊社「カスタマーセンター」などにご相談ください。

電池の取り扱い

電池の取り扱いには注意してください。火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池をショート、分解、火に入れたりしない。
- 指定以外の電池は使用しない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 電池を入れたまま長期間放置しない。
- ボタン電池は幼児の手の届かないところに保管する。

- 電池をリモコンに入れる場合、極性を（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、機器の表示通りに入れる。
- 使いきった電池はすぐに機器から取り出す。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。
- 電池を廃棄するときは、その地域の回収方法に従ってください。

投映中にレンズの前に物を置かない

- 投映中にレンズの前に水槽等、レンズ効果をもたらすものを置かないでください。火災の原因となることがあります。

高温注意

高温注意

投映中及び投映終了直後は排気孔付近が高温になっており、手を近づけるとやけどの原因となることがあります。
投映中及び投映終了直後は排気孔付近に触れずに温度が下がるまでお待ちください。

使用上のお願い

性能確保のため、次の点にご留意ください。

1.持ち運びについて

本機を持ち運ぶときは、付属のキャリングケースを使用してください。また、デジタルプロジェクタ本体には強い衝撃を与えないでください。

2.ご使用の前にはレンズカバーを必ず開けてください。

3.投映レンズ面は素手でさわらないでください。

投映レンズ面に指紋や汚れがつくと、充分な画質が得られませんので、レンズ面には手をふれないでください。

4.スクリーンについて

ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

5.リモコンについて

本機の操作の一部はリモコンで行います。リモコンをなくさないようにご注意ください。

6.振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となリます。振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

7.高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。

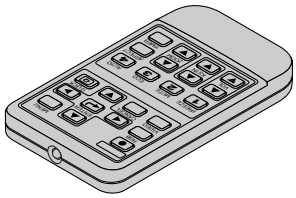
8.廃棄について

本体廃棄の際は、お買いあげの販売店または、自治体にお問い合わせください。

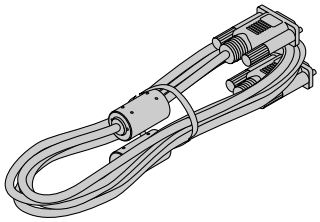
付属品を確認する

本体と付属品を箱から取り出して、次のものが同梱されていることをご確認ください。

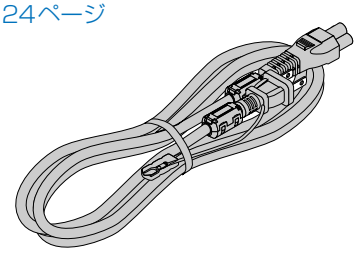
ワイヤレスリモコン［ボタン電池1個付］（1個）
プロジェクタを操作します。
ご使用の際は輸送用絶縁シートを外してください。
➜ 16ページ



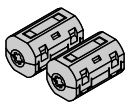
RGB信号ケーブル［ミニD-Sub15ピン、2m］（1本）
パソコンとの接続に使います。接続は➜ 19ページ



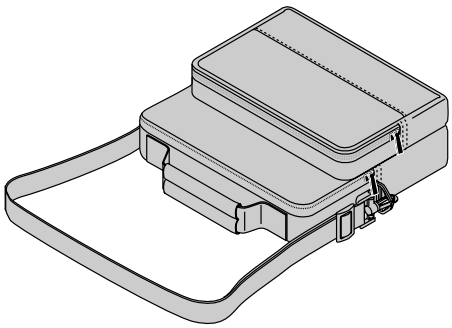
電源コード［1.8m］（1本）
電源を供給する電源コードです。
接続は➜ 24ページ



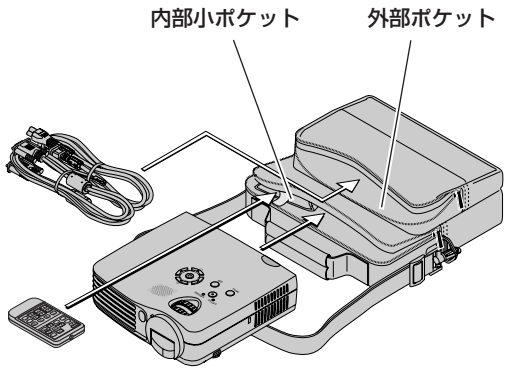
フェライトコア（2個）
ビデオケーブル、およびオーディオケーブルに取り付けるフェライトコアです。
取り付け方は➜ 21、23ページ



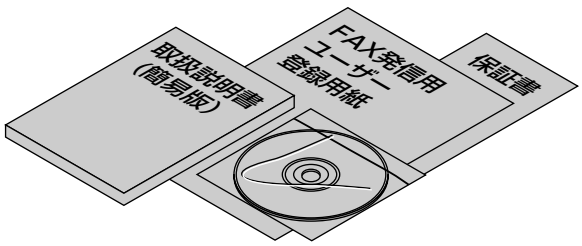
キャリングケース（1個）
プロジェクタ本体や付属品を入れるケースです。
移動や保管時にご使用ください。



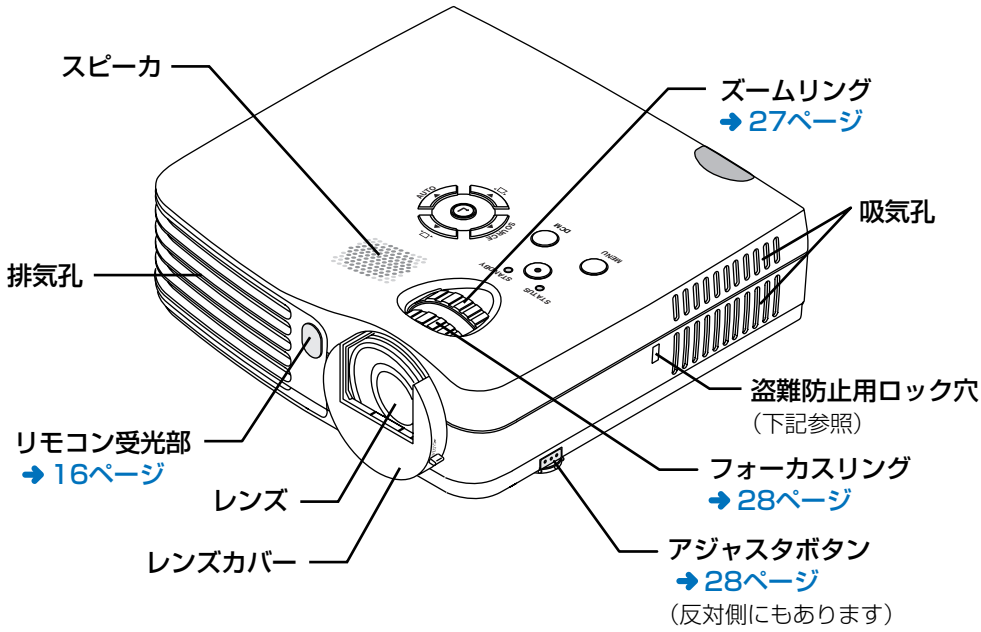
入れ方
本体のレンズカバーを閉めてからケースに入れてください。
リモコンは、内部小ポケットに、添付ケーブルは外部ポケットに入れてください。

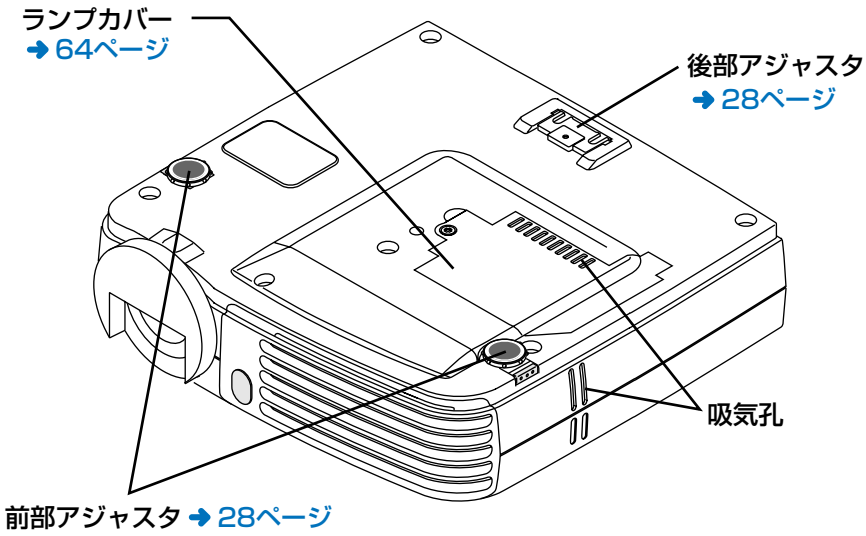


取扱説明書（CD-ROM版）（1枚）
取扱説明書（簡易版）（1冊）
保証書（1枚）
FAX発信用ユーザー登録用紙（1枚）
セキュリティシート（1枚）
セキュリティラベル（1枚）



本体各部のなまえ

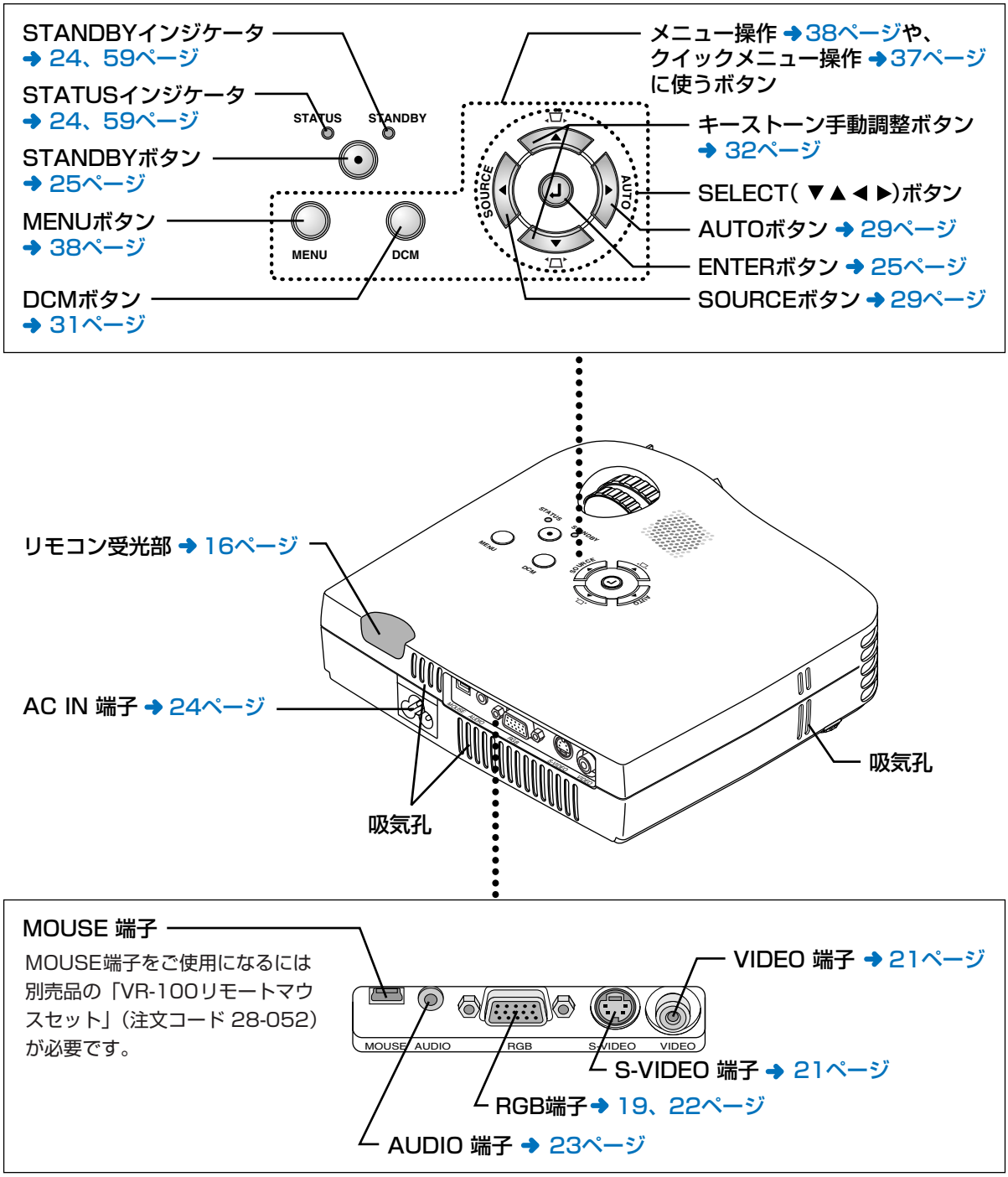




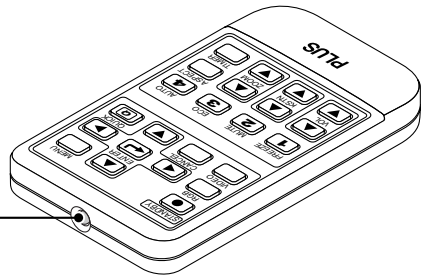
盗難防止用ロックについて

盗難防止用ロックは、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。この製品についてのお問い合わせ先は、右記のとおりです。

日本ポラデジタル株式会社
〒104-0032　東京都中央区八丁堀1-5-2
はごろもビル5F
Tel : 03-3537-1070
Fax : 03-3537-1071


STANDBYインジケータ
➜ 24、59ページ
STATUSインジケータ
➜ 24、59ページ
STANDBYボタン
➜ 25ページ
MENUボタン
➜ 38ページ
DCMボタン
➜ 31ページ
STATUS
STANDBY
MENU
DCM
SOURCE
AUTO
メニュー操作 ➜38ページや、
クイックメニュー操作 ➜37ページ
に使うボタン
キーストーン手動調整ボタン
➜ 32ページ
SELECT(▼▲◀▶)ボタン
AUTOボタン ➜ 29ページ
ENTERボタン ➜ 25ページ
SOURCEボタン ➜ 29ページ
リモコン受光部 ➜ 16ページ
AC IN 端子 ➜ 24ページ
吸気孔
吸気孔
MOUSE 端子
MOUSE端子をご使用になるには
別売品の「VR-100リモートマウ
スセット」（注文コード 28-052）
が必要です。
MOUSE
AUDIO
RGB
S-VIDEO
VIDEO
VIDEO 端子 ➜ 21ページ
S-VIDEO 端子 ➜ 21ページ
RGB端子➜ 19、22ページ
AUDIO 端子 ➜ 23ページ

リモコン各部のなまえ



リモコン送信部➜16ページ

STANDBYボタン
電源を入れたり、スタンバイ状態に切り換えるボタンです。➜25, 26ページ

入力選択に使うボタン
➜29ページ
RGBボタン、
VIDEOボタン(Video/S-Video)

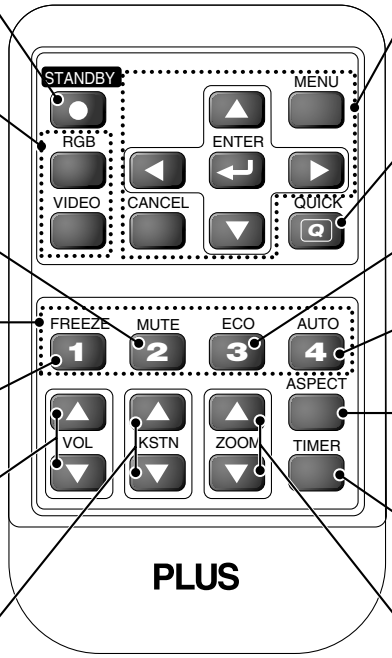
MUTEボタン➜31ページ
（映像・音声の一時消去）

数字ボタン➜35ページ
（セキュリティロックに使います。）

FREEZEボタン➜31ページ
（動画を静止します）

VOLボタン➜32ページ
（音量調整）

KSTNボタン➜32ページ
（台形歪み補正調整）



メニュー操作に使うボタン
➜38ページ
▲▼◀▶はSELECT（▲▼◀▶）ボタン

QUICKボタン➜37ページ
（クイックメニューの表示）

ECOボタン➜31ページ
（ランプモードの選択）

AUTOボタン➜29ページ
（RGB信号の画像を自動調整）

ASPECTボタン
➜30ページ
（画面の横・縦の比率選択）

TIMERボタン➜34ページ
（プレゼンタイマー時間設定表示）

ZOOMボタン➜33ページ
（デジタルズーム調整）

お願い

リモコンの取り扱いについて

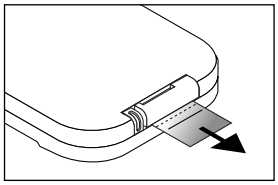
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一、ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- ボタン電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合はただちに医師の診断を受けてください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池を取り出してください。
- リモコンしかできない操作（メニュー操作）がありますので、取り扱いには注意してください。

リモコンを準備する

ボタン電池交換のしかた

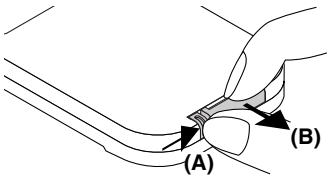
● はじめてご使用になる場合

出荷の際には輸送用絶縁シートを挟んでいます。シートを引き抜いてご使用ください。

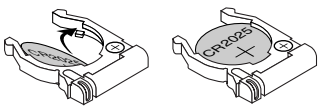


● 交換のしかた

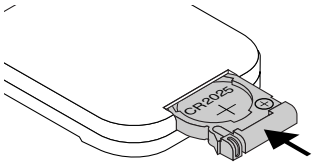
1 (A)つまみを右側へ押したまま(B)電池ケースを引き出します。



2 古い電池を外し、新しいボタン電池の＋面を上にして、電池ケースに入れます。



3 電池ケースをリモコンに入れ、「カチッ」と閉まるまで電池ケースを押します。

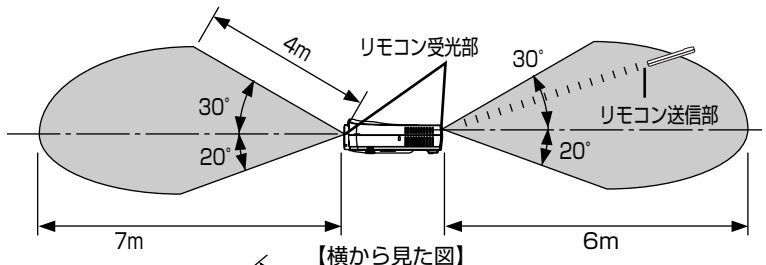


お願い

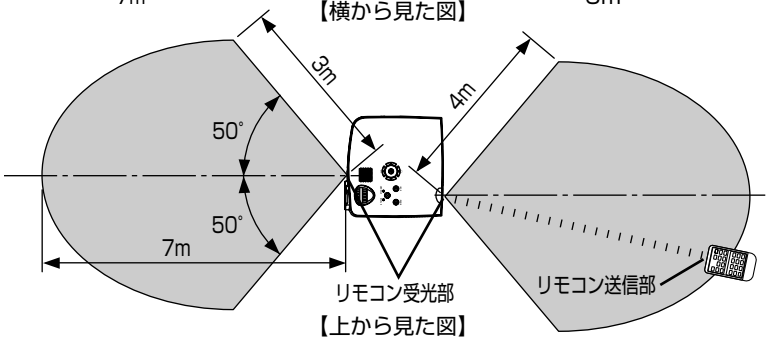
- 交換する電池は、付属のボタン電池（CR2025）と同じものをご使用ください。種類の異なった電池を使用すると破裂のおそれがあります。
- 使用済電池は、取扱指示に従って処分してください。

リモコンの受光可能範囲

リモコンのリモコン送信部を本体の前または後ろのリモコン受光部に向けて操作してください。
おおよそ下図の範囲内で受信できます。



【横から見た図】



【上から見た図】

お知らせ

- 本体のリモコン受光部やリモコンのリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中に障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。
- ボタン電池が消耗していると動作しません。

スクリーンに投映するまでの手順

設置調整は次の順序で行います。

1 位置決めをする

スクリーンおよびプロジェクタの設置場所を決めます。

➜18ページ「設置の目安」

2 パソコンや映像機器と接続をする

お手持ちの機器と接続します。

パソコンのRGB端子と接続する場合➜19ページ「パソコンとの接続」

映像機器の映像端子、S映像端子と接続する場合➜21ページ「コンポジット信号との接続」

映像機器のYCbCr端子、YPbPr端子と接続する場合➜22ページ「コンポーネント信号との接続」

音声を本機内蔵スピーカから出す場合➜23ページ「AUDIO端子との接続」

3 電源コードを接続し、レンズカバーを開ける

➜24ページ「使うとき」

➜26ページ「終わったとき」

4 メニュー表示などの言語を選択をする（ご購入後はじめて電源を入れたときのみ）

➜25ページ「電源を入れたとき［メニュー言語選択］が表示された場合」

5 パソコンや映像機器の電源を入れる

6 投映画面をスクリーンに正しく合わせる

➜27ページ「投映画面の調整」

7 入力機器を選択する➜29ページ「入力の選択」

8 画像や映像を調整する

必要に応じて最適な状態に調整してください。

調整項目は目次をご覧ください。

DLPプロジェクタについて

品質には万全を期しておりますが、DLP方式のプロジェクタにおいては、ごくまれに画素の中に黒点もしくは輝点が存在することがあります。あらかじめご了承ください。

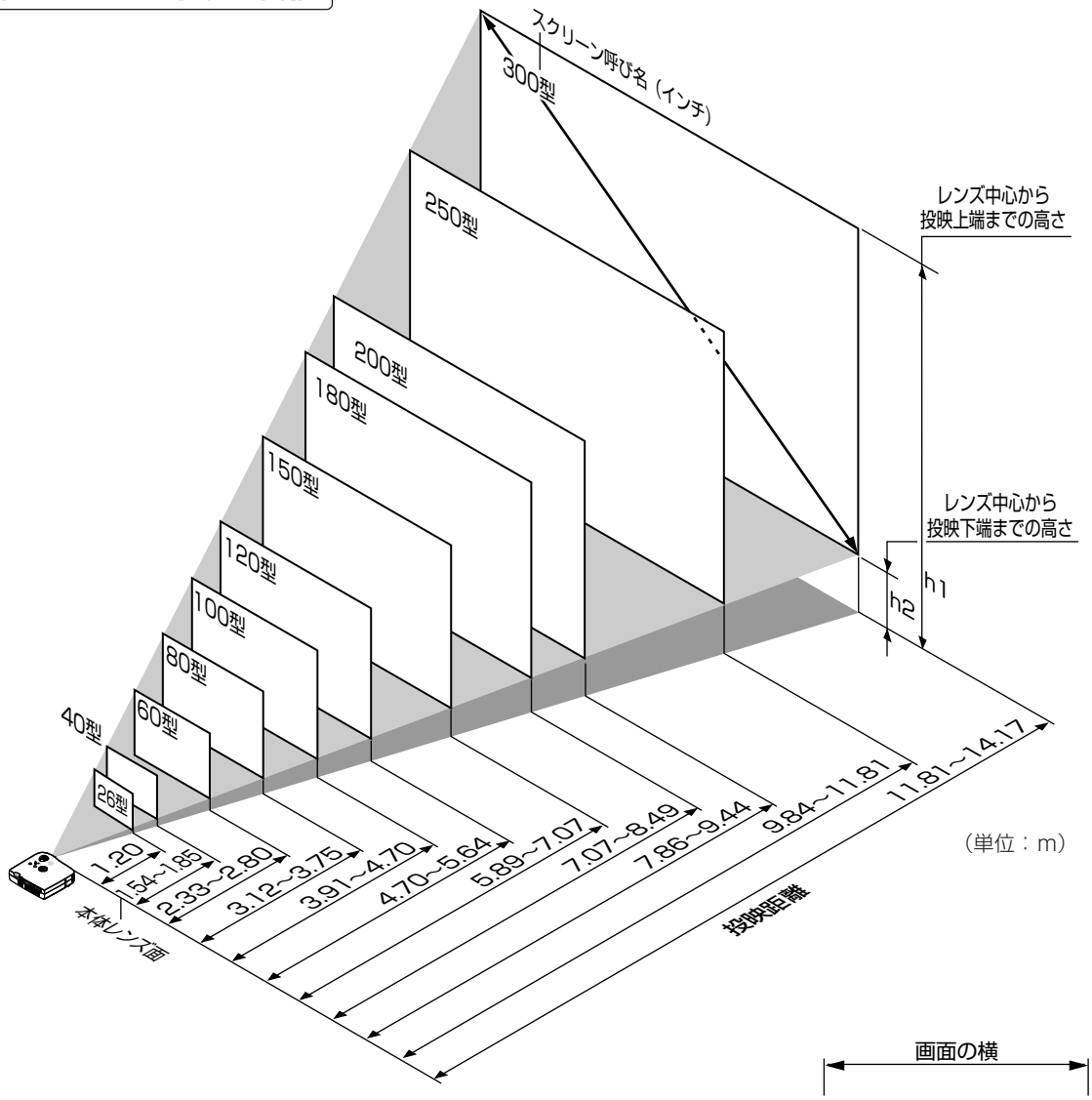
お知らせ

- スクリーンは別途お買い求めください。
- DVDプレーヤなどYCbCr端子の機器と接続するには別売のコンポーネントケーブル（注文コード 28-690）が必要です。
- HD映像機器などYPbPr端子の機器と接続するには別売のコンポーネントケーブル（注文コード 28-690）が必要です。

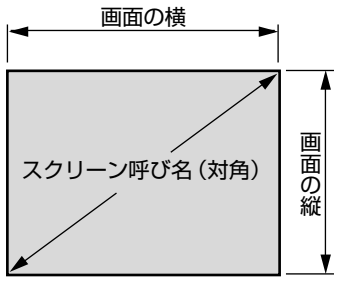
設置の目安

- この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、またどのくらいのスクリーンを用意すればいいのかを知りたいときの目安にしてください。
- フォーカス（焦点）の合う投映距離は本体レンズ面から約1.20m～14.17mです。この範囲内に設置してください。

画面サイズと投映距離



スクリーン呼び名（インチ）	画面サイズ 横×縦（m）	投映距離（m） ワイド～テレ	高さh1（m）	高さh2（m）
26型	0.53×0.40	— ～1.20	0.47	0.07
40型	0.81×0.61	1.54～1.85	0.71	0.10
60型	1.22×0.91	2.33～2.80	1.07	0.16
80型	1.63×1.22	3.12～3.75	1.43	0.21
100型	2.03×1.52	3.91～4.70	1.78	0.26
120型	2.44×1.83	4.70～5.64	2.14	0.31
150型	3.05×2.29	5.89～7.07	2.68	0.39
180型	3.66×2.74	7.07～8.49	3.21	0.47
200型	4.06×3.05	7.86～9.44	3.57	0.52
250型	5.08×3.81	9.84～11.81	4.46	0.65
300型	6.10×4.57	11.81～14.17	5.35	0.78



- 設計値のため、±5%の誤差があります。
- この表はレンズ先端およびレンズ中心を基準とし、また、本体が水平の状態（前後のアジャスタを縮めた状態）で表しています。

パソコンや映像機器を接続する

● パソコンを接続すると会議や講義など大画面ディスプレイとして作成データを映すことができます。また、DVDプレーヤなどの映像機器を接続し、さらにAVアンプやスピーカシステムを組み合わせると迫力あるホームシアターが楽しめます。

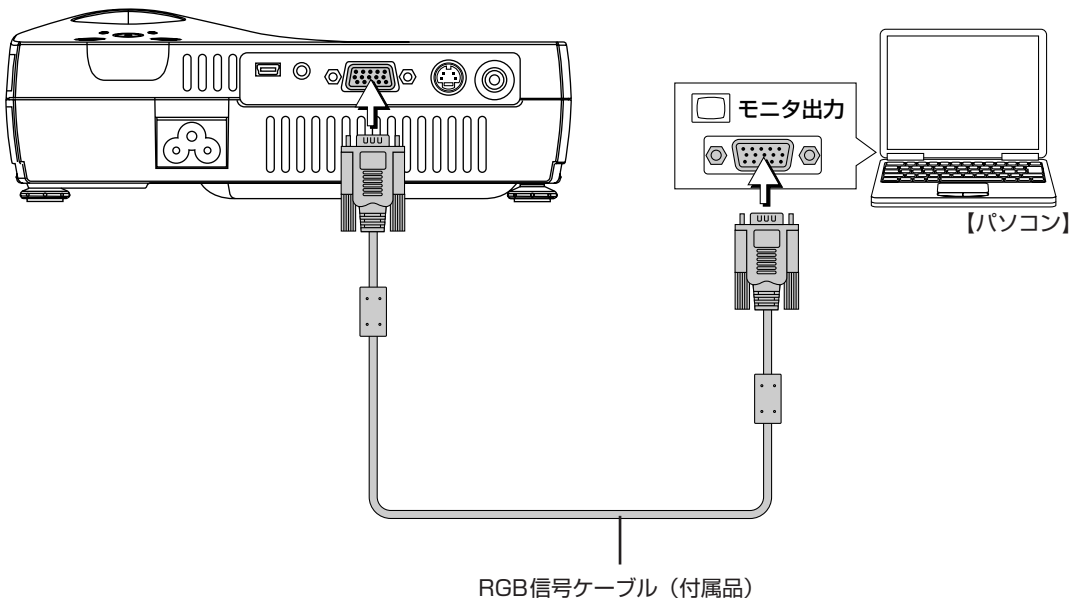
パソコンとの接続

パソコンとの接続の前にご確認ください。

- 本機の適した解像度は1024×768ドット(XGA)、最大表示可能解像度は1280×1024ドット(S-XGA)です。パソコン側で表示可能な解像度に変更してください。➜67ページの「対応周波数一覧表」でご確認ください。
- パソコンの設定方法はお使いのパソコンによって異なりますので、パソコンの取扱説明書やオンラインヘルプをお読みになるか、パソコンメーカーへお問い合わせください。

本機のRGB端子と付属品のRGB信号ケーブルで接続します。

- 接続するときは端子の向きを合わせて差し込んでください。その後つまみを回して本体の端子に固定します。
- 工場出荷時は“オート”に設定されていますが、映らない場合はメニューの［設定］→［入力設定］→［RGB］で入力設定を“RGB”に切り換えてください。
  ➜53ページ「入力設定」参照



お知らせ

- 接続の際は、本機と接続機器の電源が切れていることをご確認ください。
- ノートパソコンを接続して投映する際、ケーブル接続とノートパソコン起動の手順や、起動後の操作など、必要な知識があります。お手持ちのノートパソコンの取扱説明書やオンラインヘルプをご覧ください。

■ ノートパソコンの外部出力信号を出力するには

ノートパソコンを接続する際、ケーブル接続とノートパソコン起動の手順や、ノートパソコン起動後の操作など、必要な知識があります。お手持ちのノートパソコンの取扱説明書やオンラインヘルプを確認しながら、以下の手順を行ってみてください。

1 ノートパソコンから本機に信号がでているか確認する。
ノートパソコンの液晶画面に表示されていても外部出力信号が出力されているとは限りません。
【参考】プロジェクタのメニューの［情報］に“解像度”や“周波数”が表示されないときは、パソコンから外部出力信号が出ていません。➜58ページ「周波数／解像度」参照

2 ノートパソコンから信号がでていないときは、以下の操作をためしてください。
IBM PC/AT、DOS/V機の場合、［Fn］キー＋ ［F1］ ～ ［F10］ キーのいずれか（下記表参照）を押します。

メーカー名	機　種	キー
DELL	全機種	Fn + F8
EPSON	全機種	Fn + F8
FUJITSU	全機種	Fn + F10
iiyama	全機種	Fn + F3
IBM	全機種	Fn + F7
NEC	全機種	Fn + F3
Panasonic	全機種	Fn + F3
SHARP	全機種	Fn + F5
SONY	全機種	Fn + F7
SOTEC	全機種	Fn + F3～F5
TOSHIBA	全機種	Fn + F5
Victor	全機種	Fn + F10

注）表の内容は2003年12月現在のものです。

お知らせ

- ノートパソコンの液晶画面と本機を同時に表示させた場合、液晶画面は正常に表示されていても投映された映像が正常でない場合があります。その場合はノートパソコンの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにしてお試しください。前記の**2**のような操作をしたり、液晶パネルを閉じたりすると、外部出力のみとなる場合があります。

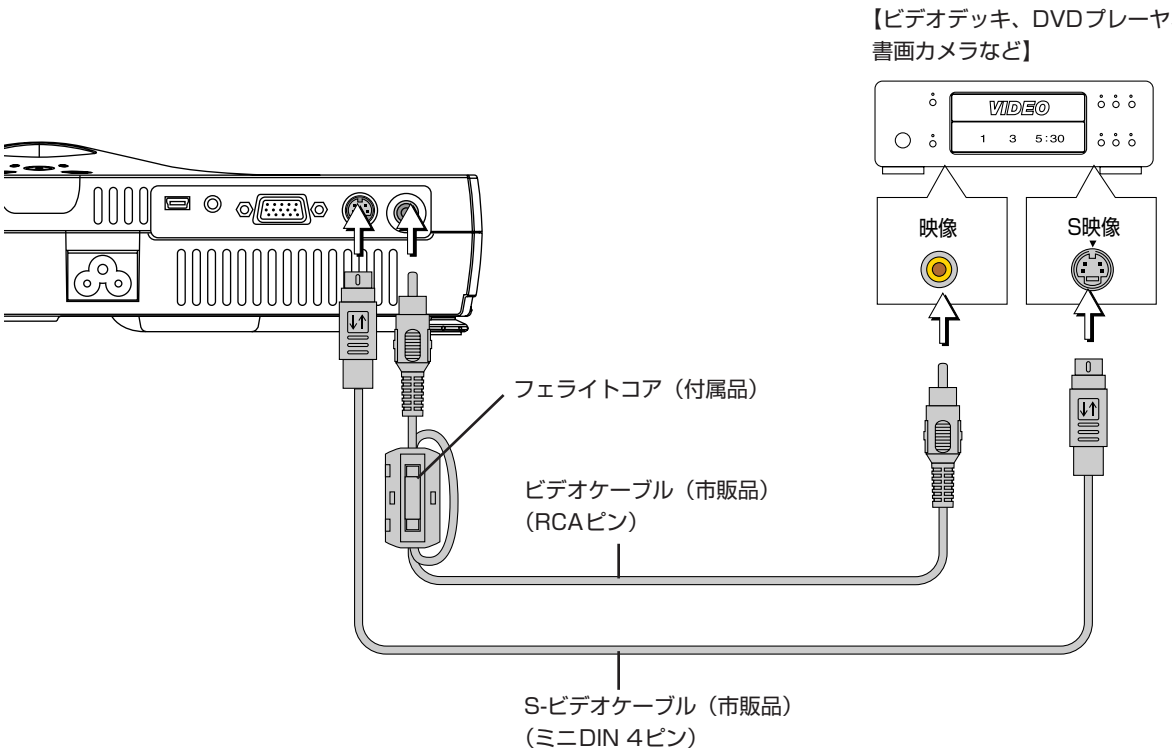
コンポジット信号との接続

■ 映像機器が映像端子の場合

- 本機のVIDEO端子と市販品のビデオケーブルで接続します。ビデオケーブルは下記のように、付属品のフェライトコアを取り付けて使用してください。
- VIDEO端子の入力設定の工場出荷時は“オート”に設定されていますが、映らない場合はメニューの［設定］→［入力設定］→［Video］で入力設定を“NTSC”に切り換えてください。➜53ページ「入力設定」参照

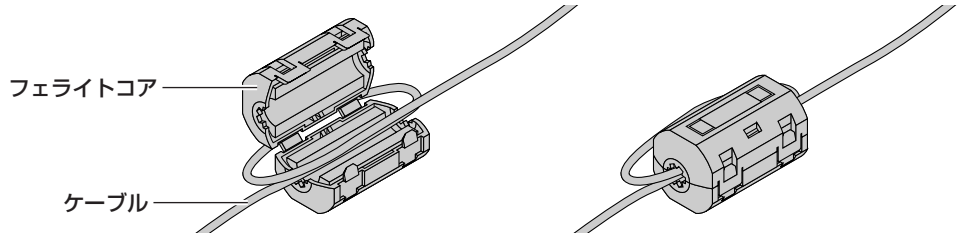
■ 映像機器がS映像端子の場合

- 本機のS-VIDEO端子と市販品のS-ビデオケーブルで接続します。
- S-VIDEO端子の入力設定の工場出荷時は“オート”に設定されていますが、映らない場合はメニューの［設定］→［入力設定］→［S-Video］で入力設定を“NTSC”に切り換えてください。➜53ページ「入力設定」参照



フェライトコアの取り付け方

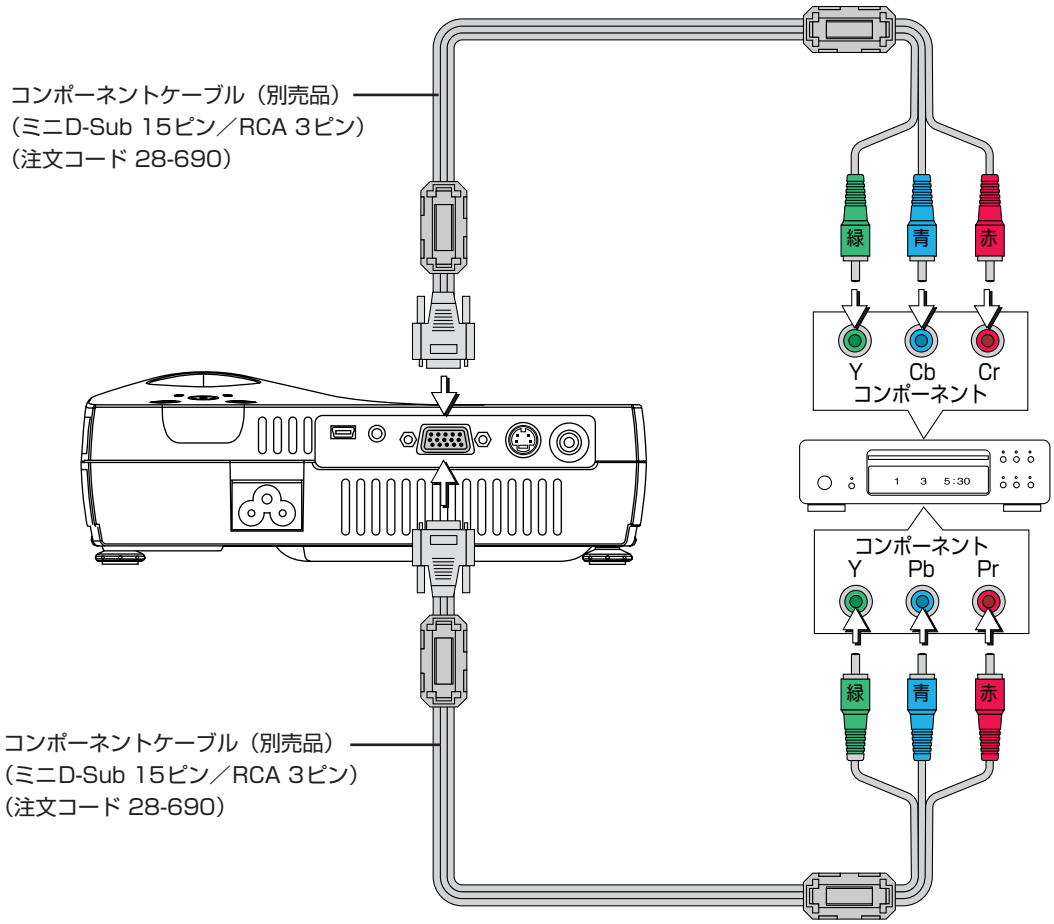
フェライトコアを開き、ケーブルを一巻きさせて閉じて下さい。



コンポーネント信号との接続

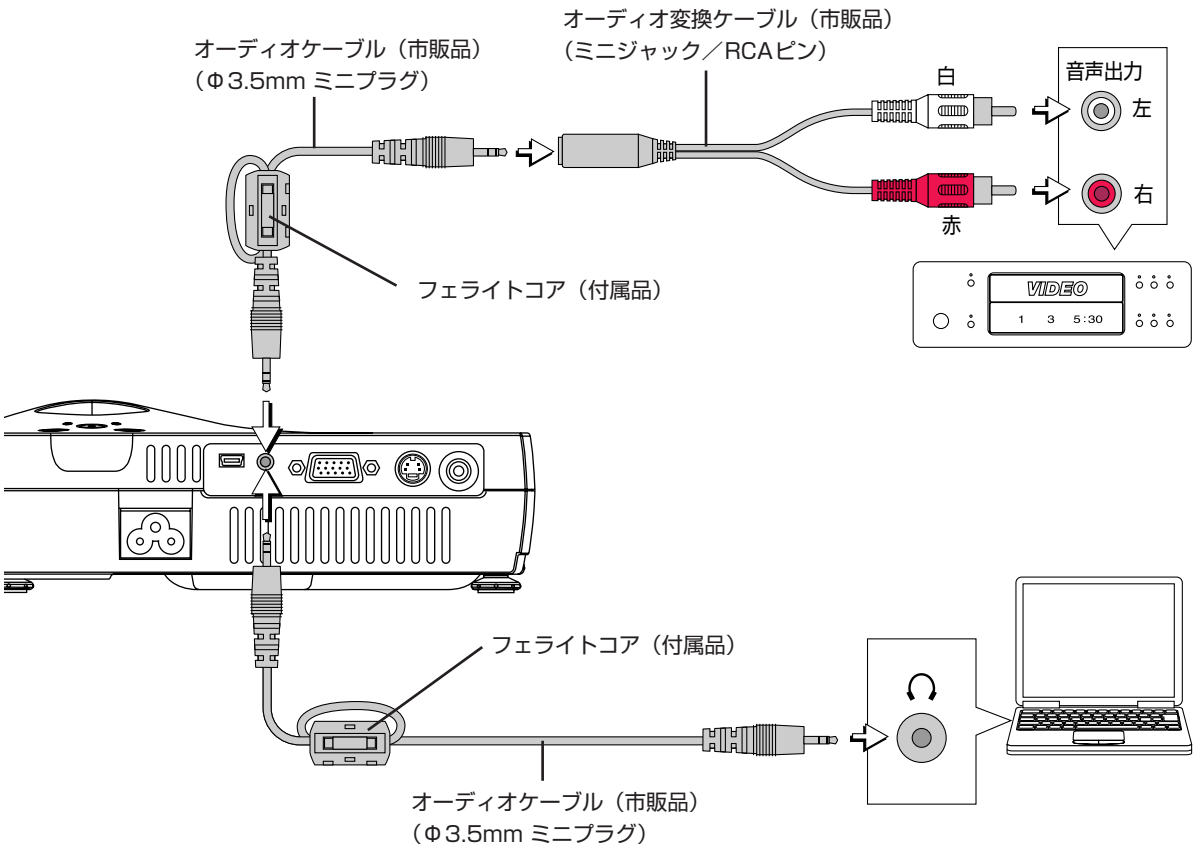
■ 映像機器がYCbCr端子またはYPbPr端子の場合

- 工場出荷時は“オート”に設定されていますが、映らない場合はメニューの［設定］→［入力設定］→［RGB］で入力設定を“コンポーネント”に切り換えてください。
  ➜53ページ「入力設定」参照
- YCbCr信号またはYPbPr信号を投映していて映像全体の色が緑っぽいなど極端にかたよっている場合は、メニューの［カラー］→［カラースペース］の設定を変更してください。➜48ページ「カラースペース」参照



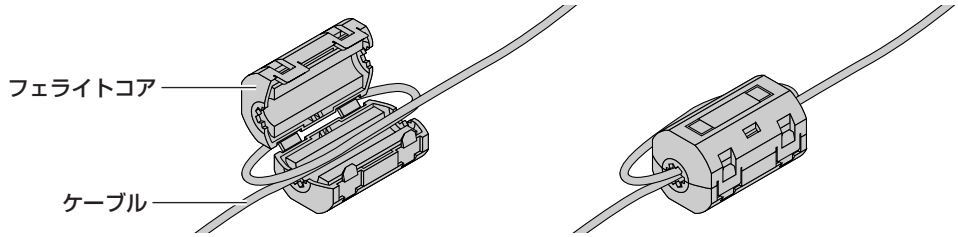
AUDIO端子との接続

- 本機のAUDIO端子と市販品のオーディオケーブルで接続します。接続機器の音声端子がRCAフォノ端子の場合は、市販品のオーディオ変換ケーブルを介して接続します。オーディオケーブルは下記のように、付属品のフェライトコアを取り付けて使用してください。
- 本機内蔵スピーカはモノラル音声になります。迫力ある音声で楽しむためには、映像機器の音声出力をお手持ちのオーディオシステムと接続してください。
- 内蔵スピーカはAUDIO端子に接続されている機器の音声が出ます。



フェライトコアの取り付け方

フェライトコアを開き、ケーブルを一巻きさせて閉じて下さい。



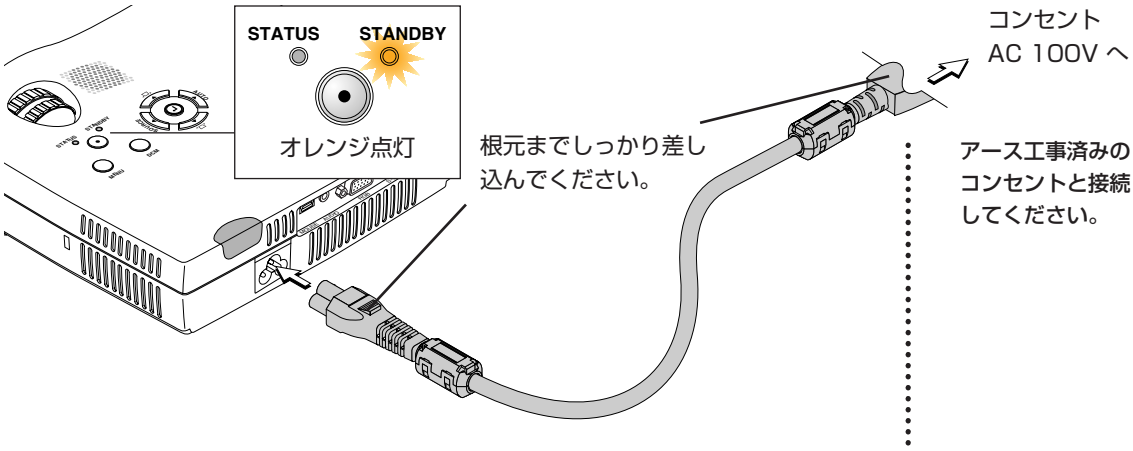
電源コードの接続と入／切

電源コードの接続と電源の入／切には順次があります。

使うとき

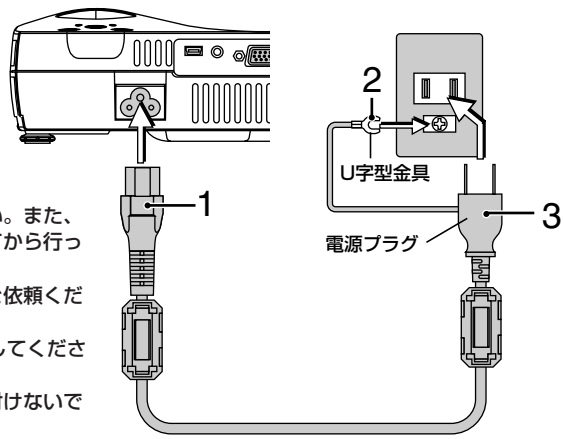
1 本体のAC IN端子とコンセント（AC 100V）を付属品の電源コードで接続します。

STANDBYインジケータがオレンジ点灯し、スタンバイ状態になります。



■電源コードの差込み方法

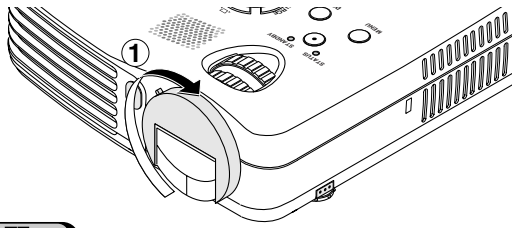
1. 付属の電源コードを本機のAC IN端子に接続する
2. 電源コードのU字型金具をコンセントのアース端子に接続する
3. 電源プラグをコンセントに差し込む



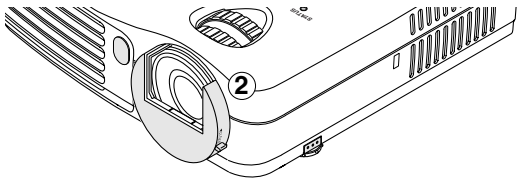
ご注意

- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください（有料）。
- 本機の電源は、必ずアース付き交流100Vのコンセントを使用してください。
- 電源プラグのアースをガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取付けないでください。

2 ① レンズカバーを右へ回転させます。



② レンズカバーが「カチッ」と止まったら、投映可能状態です。

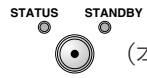


お願い

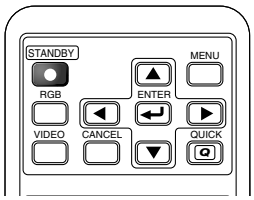
- 電源プラグをコンセントから抜く場合、容易に手が届くように本機をコンセントの近くに設置してください。
- STANDBYボタンはSTANDBYインジケータがオレンジ点灯してから押してください。
- 付属の電源コードは本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

3 プロジェクタの電源を入れる

リモコンまたは本体のSTANDBYボタンを押します。



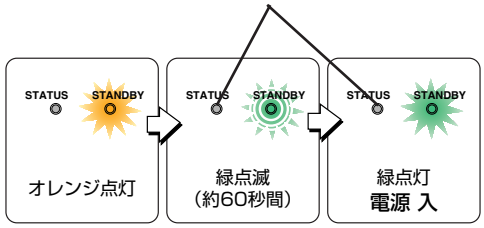
（本体のボタン）



ご購入後、はじめて電源を入れたときは［メニュー言語選択］が表示されます。選択のしかたは下記をご覧ください。

- 電源を入れるとSTANDBYインジケータが緑の点滅に変わり、約60秒後に点灯します。このとき、STATUSインジケータが緑点灯した場合は［ランプモード］が“エコ”に設定されています。選択のしかたは➜31、53ページ
- 電源が入らないときは➜59ページの「インジケータが点灯／点滅しているときは」をご覧ください。

エコモード時はこのランプも緑点灯します。



「パスワード」入力画面を表示した場合➜36ページ

このプロジェクタはパスワードが設定されています。
パスワードを入力しないと使用できません。
電源を切るには➜26ページ

これでプロジェクタが投映できる状態になりました。

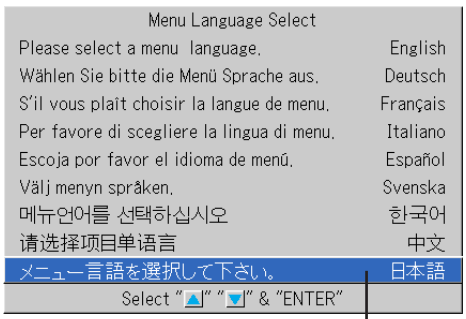
お知らせ

- 投映中にレンズカバーを閉じると、すばやく画像ミュートが出来ます。

4 接続機器の電源を入れる

■ 電源を入れたとき［メニュー言語選択］が表示された場合

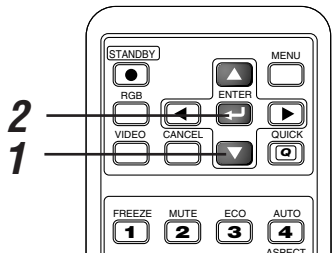
ご購入後、はじめて電源を入れたときは［メニュー言語選択］が表示されます。以下の手順に従って、プロジェクタの表示言語を選択してください。
映像がぼやけている場合はフォーカスリングを左または右に回して焦点を合わせてください。➜28ページ参照



カーソル

1 **リモコンのSELECT（▲▼）ボタンを押して紺色のカーソルを［日本語］に合わせます。**

2 **ENTERボタンを押して決定します。**
言語が決定されて［メニュー言語選択］が閉じます。



これで、表示言語の選択が終わりました。

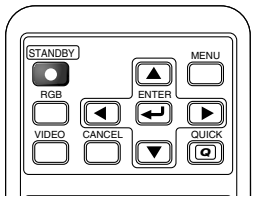
ご注意 **次からは［メニュー言語選択］の表示は出ません。変更が必要な場合は➜55ページ「言語」参照**

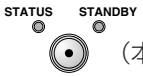
終わったとき

1 接続機器の電源を切る

2 プロジェクタの電源を切る

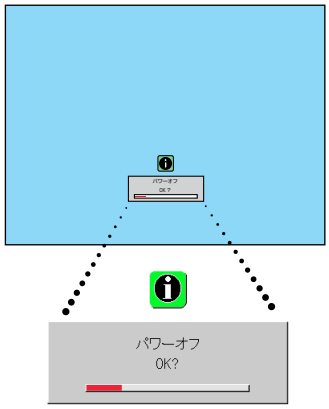
リモコンまたは本体のSTANDBYボタンを押します。





（本体のボタン）

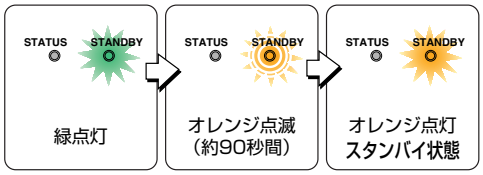
［パワーオフ］表示が出ます。
レベルゲージが最大になると（約5秒）投映画面が消え、電源を切る動作に入ります。



お知らせ

- STANDBYボタン以外のボタンを押すと取り消しができます。
- もう一度STANDBYボタンを押すと、すぐに電源が切れます。

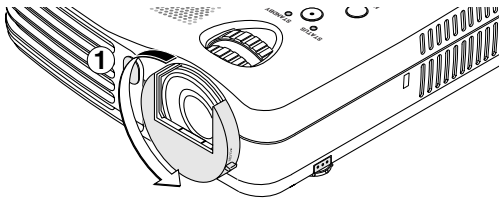
STANDBYインジケータがオレンジの点滅に変わり、約90秒後にオレンジ点灯に（スタンバイ状態）になります。

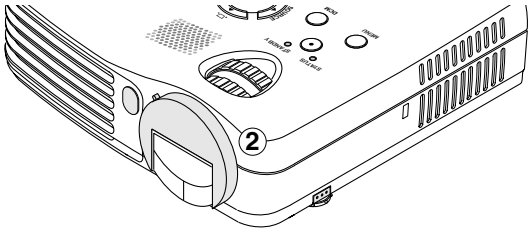


3 電源コードを抜く

STANDBYインジケータがオレンジ色に点灯していることを確認してから抜いてください。
電源コードを抜くと、STANDBYインジケータが消灯します。

4 ① レンズカバーを左へ止まるまで回転させます。　② レンズカバーが「カチッ」と止まります。





クィックオフ機能
電源を切った後すぐに電源コードを抜いても、内部電源により冷却ファンが回転しランプの冷却を行いますので、すぐに移動させることができます。
・電源コードを接続した状態で冷却を行ったときよりランプが再点灯しにくくなることがあります。
・冷却ファンが回転している間はバッグ等に入れないでください。

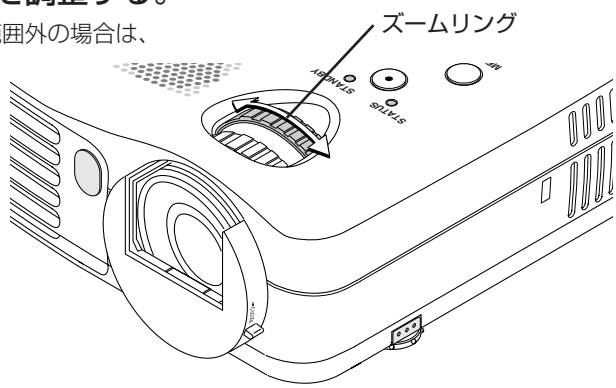
投映画面の調整

接続機器の電源を入れ、映像信号を本機へ入力した状態で行ってください。

投映画面を調整する

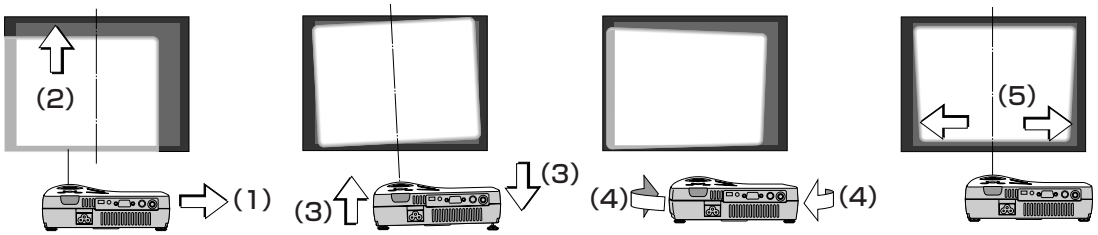
1 ズームリングを回して画面の大きさを調整する。

お好みの画面サイズになるよう調整します。調整範囲外の場合は、本体を後ろまたは前に移動します。



2 スクリーンに投映画面を合わせます。

スクリーンが水平・垂直に設置されていることをご確認ください。



(1) 左右方向にずれている場合は本体を横に移動します。(スクリーンの中心と本体レンズの中心を合わせます。)

(2) 上下方向にずれている場合はアジャスタで上下方向を調整します。➜28ページ「アジャスタ調整のしかた」

(3) 傾いている場合は右または左のアジャスタを回して調整します。➜28ページ「アジャスタ調整のしかた」

(4) 図の様な投映画面は本体がスクリーンに対して横を向いていますので真っすぐ向けます。

(5) 投影画面上下の台形状の歪みは自動的に補正します。(オートキーストーン機能)

・投映角度を固定してから約2秒後に自動調整し、調整が完了すると「キーストーン調整完了」のメッセージを約1.5秒表示します。

自動調整後の微調整をする場合は➜32ページ「オートキーストーンの手動調整」

■ オートキーストーン機能について

プロジェクタの上下方向が傾いていると台形歪みが生じます。本機は上下の傾きを感知して自動的に補正する「オートキーストーン」機能を備えています。

オンスクリーンメニューの［オートキーストーン］が「オフ」に設定されている場合は動作しません。➜51ページ「オートキーストーン」

[自動補正の条件]

・上方向約2～12度、下方向約2～18度の範囲で動作します。

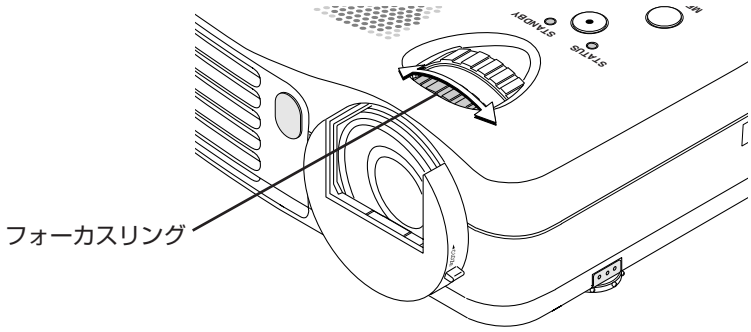
・映像を投映しているときのみ補正します。

お知らせ

- スクリーン面が傾いていたりプロジェクタ周囲の温度が極端に（高温または低温）になっているときは、補正できない場合があります。

3 フォーカスリングを回して画面のピントを合わせる

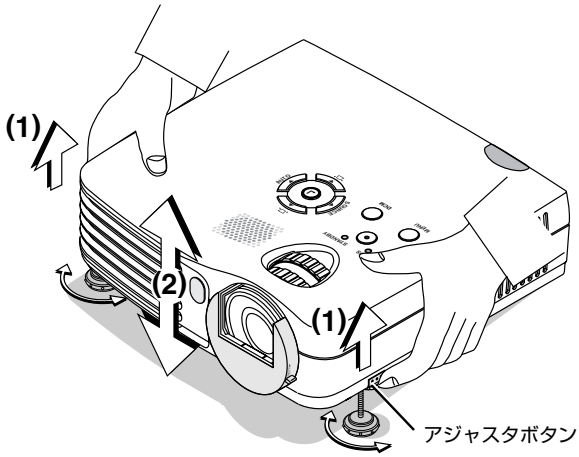
PLUS



■ アジャスタ調整のしかた

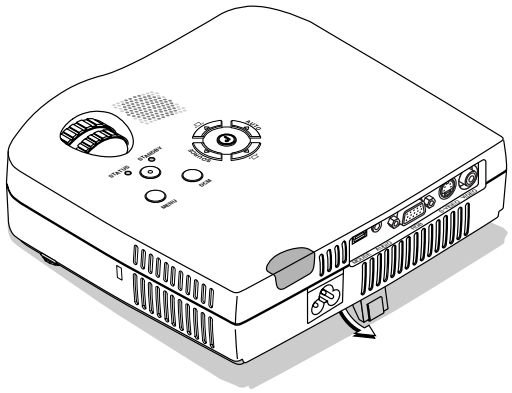
投映画面を上げる場合

投映画面を見ながら（1）左右にある前部アジャスタボタンを押したまま（2）本体を持ち上げてスクリーンに合わせ、指を離します。
微調整は右・左の前部アジャスタを回して行います。
がたつきが無いように調整してください。



投映画面を下げる場合

上記の操作で前部アジャスタを下げてください。それ以上に投映画面を下げたい場合は後部アジャスタを起こします。
微調整は右・左の前部アジャスタを回して行います。がたつきが無いように調整してください。



お知らせ

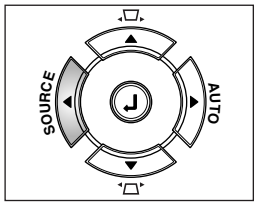
- プロジェクタを背面設置する場合は投映方法を変更してください。
➜51ページ「上下反転／左右反転」をご覧ください。

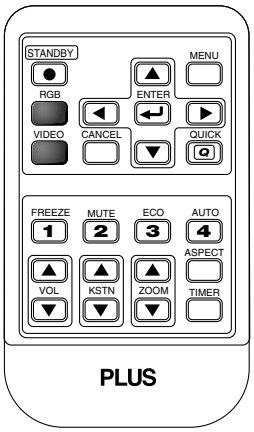
ふだんの操作

本体やリモコンボタンでの直接操作の使い方です。
メニューを使っての操作は➜38ページ「メニュー操作の方法」と➜45～58ページの各項目をご覧ください。

入力の選択

投映する入力信号の選択です。





〈本体操作〉SOURCEボタンを押します。
（メニューやクイックメニューを表示しているときは動作しません。）
オートソース　オン時
ソースボタンを押すごとに、次の入力信号があるソースを自動で選択します。
オートソース　オフ時
前回使用した入力選択状態になります。
ボタンを押すごとに　RGB→Video→ S-Videoと切り換わります。
なお、各々の入力信号は［入力設定］で設定している信号タイプとなります。➜53ページ「入力設定」

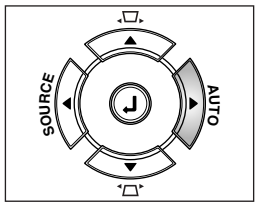
〈リモコン操作〉目的の入力選択ボタンを押します。
RGBボタン ……RGB入力に切り換わります。
VIDEOボタン ……押すごとにVideoとS-Video入力が交互に切り換わります。
オートソース　オン時
選択したソースに入力信号がない場合は、次の入力信号があるソースを自動で選択します。
オートソース　オフ時
入力信号の有無にかかわらず選択したソースに切り換わります。

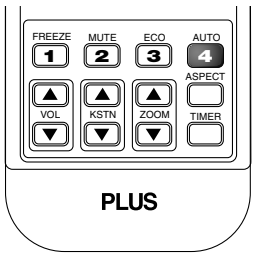
お知らせ

- 入力選択の操作をしない時は、前回使用した入力選択状態になります。
- オートソースのオン／オフにつきましては➜52ページ「オートソース」をご覧ください。

自動調整

投映しているRGB入力信号の位置ずれや画面の大きさ、縦じま・色ずれを自動で調整します。
通常は、信号選択時に自動調整されます。





〈本体操作／リモコン操作〉AUTOボタンを押します。
（メニューやクイックメニューを表示しているときは動作しません。）
ボタンを押すと自動調整を開始します。

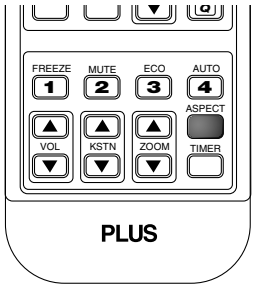
お知らせ

- 自動調整しても表示位置がずれていたり、画面に縦じまがでたり映りが悪い場合は、手動で画像調整を行ってください。➜45ページ「クロック周波数／位相／水平位置／垂直位置」
- 画像が画面よりはみ出す場合や小さい場合は、アスペクトを“オート”に設定します。➜30ページ「アスペクト比の選択」、➜50ページ「アスペクト」

アスペクト比の選択

入力信号の横と縦のアスペクト比の選択です。

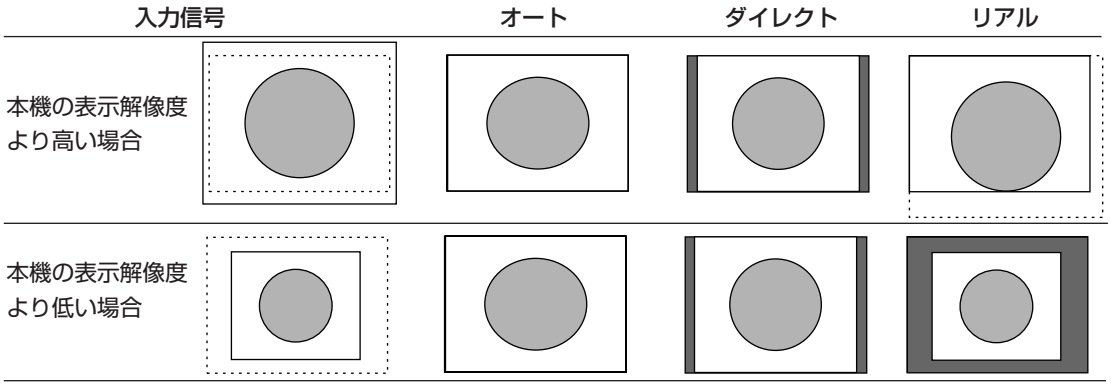
投映画面を見ながらASPECTボタンを押して、アスペクト比を選択します。



パソコンの信号

押すごとに　オート→ダイレクト→リアル　とくり返し変わります。

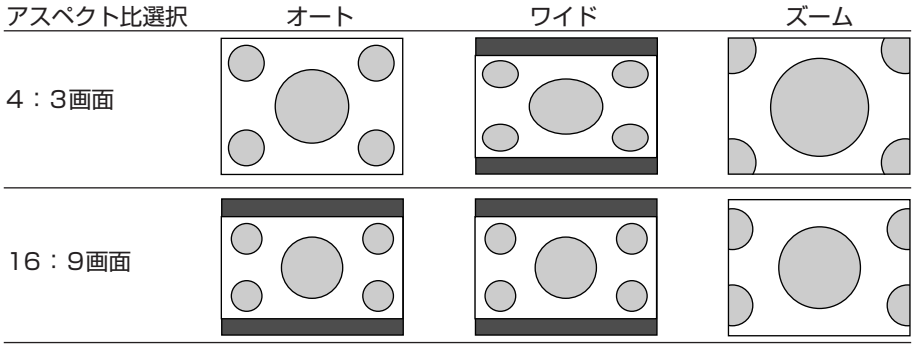
オート　　：自動で4：3に拡大／縮小して画面いっぱいに投映
ダイレクト：アスペクト比を維持したまま表示可能な最大の大きさで投映
リアル　　：入力信号を画素変換しないで投映



ビデオの信号／コンポーネントの信号

押すごとに　オート→ワイド→ズーム　とくり返し変わります。

オート：アスペクト比を維持したまま画面からはみ出す部分が無いように画面いっぱいに投映します。
（16：9の映像は上下が黒くなります。）
ワイド：全て16：9で横幅いっぱいに投映します。
（スクイーズ画面を正しいアスペクト比で投映する場合に使います。）
ズーム：16：9やレターボックス中の4：3部分のみを画面いっぱいに投映します。（はみ出た部分はカットされます）



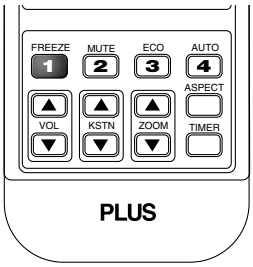
お知らせ

- パソコン信号の“リアル”（入力信号が本機の表示解像度が高い場合）、ビデオ信号の“ズーム”を選択したときは、リモコンのSELECT（▲▼◀▶）ボタンを押すと表示位置の移動ができます。ただし、メニューやクイックメニューを出している場合は移動しません。

動画を静止画にする

動画を止めて見る場合に使います。静止画状態でも入力映像は進んでいます。

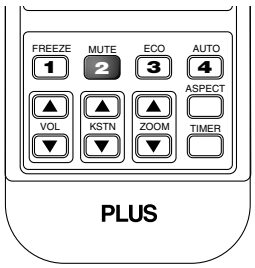
FREEZEボタンを押すと、静止画像に変わります。
再び押すと動画に戻ります。



画像と音声を一時消去する

画像と音声を一時的に消したい場合に使います。

MUTEボタンを押すと画像と音声が消え、設定のバックグラウンド色になります。
再び押すともとに戻ります。



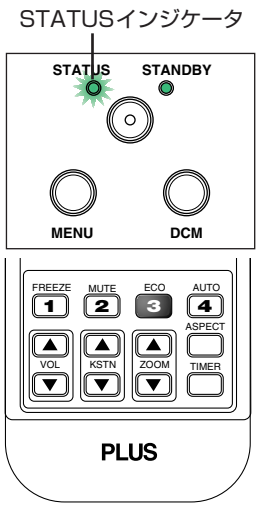
ランプモードの選択

小さいスクリーンサイズで映して画面が明るすぎるときや暗い室内で映す場合に使います。

ECOボタンを押してランプモードを切り換えます。

エコ（STATUSインジケータ緑点灯）
　ランプの輝度が約80%になり、ランプ寿命がのびます。

ノーマル（STATUSインジケータ消灯）
　ランプの輝度が100%になり、明るい画面になります。



お知らせ

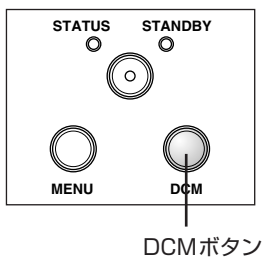
- ランプモードを頻繁に切り換えるとランプ劣化の原因となることがあります。

カラーモードの選択（DCM）

プリセットされたカラーモードを選択します。

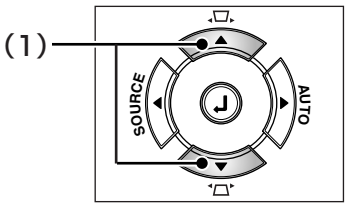
本体のDCMボタンを押してカラーモードを切り換えます。
ボタンを押すごとに、約3秒間黒画面になったあと、切り換わったカラーモードを示すメッセージが約1.5秒間表示されます。

ダイナミック……明るさ優先の選択です。
ビビッド……色優先の選択です。



キーストーンの手動調整

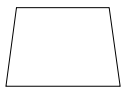
プロジェクタとスクリーンが斜めに（上下方向）なっていると台形の歪みが生じます。本機には自動と手動のキーストーン調整機能があります。
ここでは手動調整について説明しています。



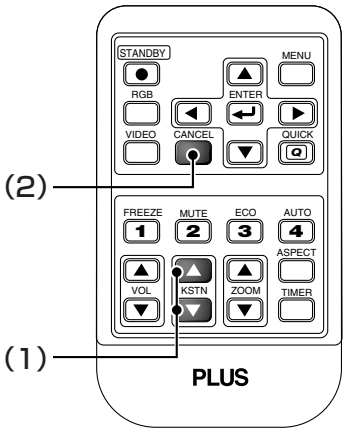
（本体ボタン）

（1）本体の（▲▼）ボタン、またはリモコンのKSTNボタンの（▲▼）を押して、左右を平行にします。
ボタンを押すとキーストーン調整表示が出ます。

▲ボタンを押す


▼ボタンを押す

（2）すぐ表示を閉じるにはリモコンのCANCELボタンを押します。
約10秒間操作をしないと表示は閉じます。



お知らせ

- 画面例は説明のため誇張して描いています。
- 投映画像の内容や投映状態によっては、画像が充分に補正されない場合がありますので、予めご了承ください。
- キーストーンの調整値は、オートキーストーン機能がオフ時には、電源を切っても保存されています。
- オートキーストーン機能につきましては➜27ページ「投映画面を調整する」、
  オートキーストーンのオン／オフにつきましては➜51ページ「オートキーストーン」、
  オンスクリーンメニューによる手動調整につきましては➜51ページ「キーストーン」をご覧ください。

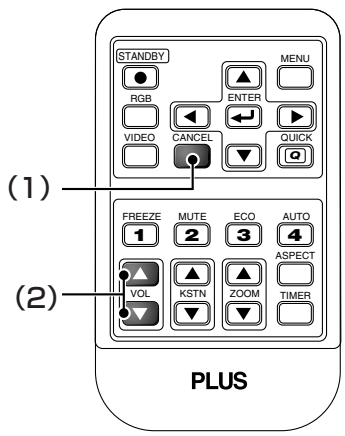
ボリュームの調整

内蔵スピーカの音量調整です。

（1）VOLボタンの▲または▼を押して音量を調整します。
ボタンを押すと音量調整表示が出ます。

▲ボタンは音量が大きくなり、▼ボタンは音量が小さくなります。

（2）すぐ表示を閉じるにはCANCELボタンを押します。
約10秒間操作をしないと表示は閉じます。

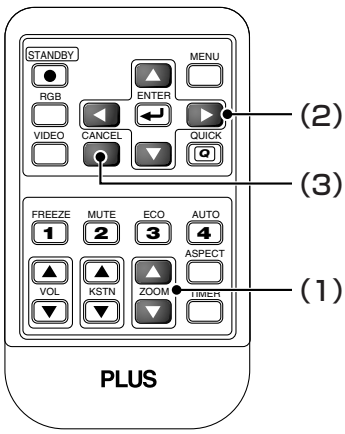


お知らせ

- 映像が投映されていないときは、音量を調整しても音はでません。

映像の拡大と画像移動

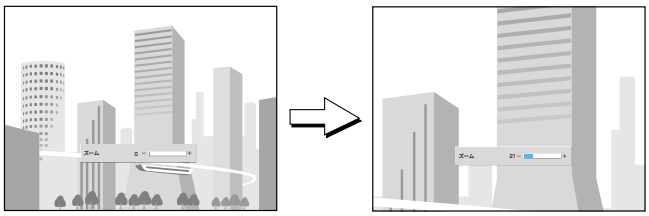
パソコン画像、ビデオ映像をデジタル拡大します。



(1) ZOOMボタンを押して映像を拡大します。

ZOOMボタンを押すとズーム表示が出ます。

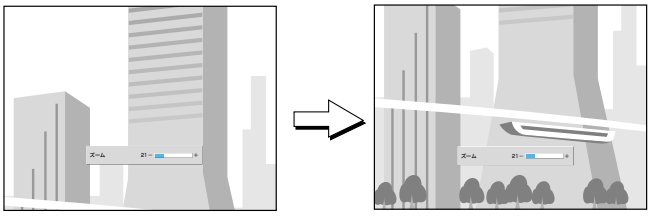
▲ボタンを押すごとに拡大し、▼ボタンを押すごとに縮小（1 : 1 に戻る）します。



（拡大無し）　（約2倍拡大）

(2) ズーム中に、リモコンのSELECT（▲▼◀▶）ボタンを押すと表示位置が移動します。

（ズーム 0 のときは移動しません。）



（約2倍拡大）　（移動）

(3) すぐ表示を閉じるにはCANCELボタンを押します。

約10秒間操作をしないと表示は閉じます。

お知らせ

- 拡大の操作が終了したら、必ずZOOMボタンでゲージ値を“0”に戻してください。

■次の場合も画像の移動ができます。

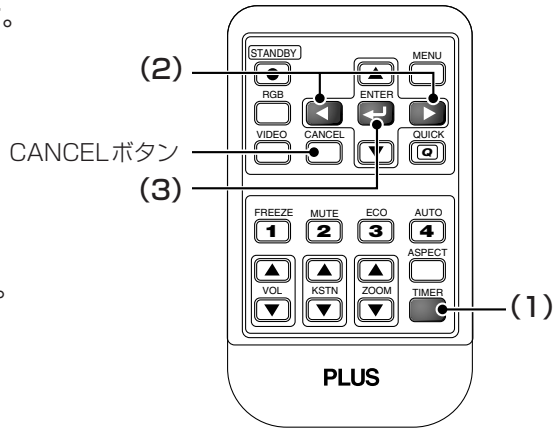
- パソコンの信号で［アスペクト］を“リアル”に設定し、かつ、プロジェクタの表示解像度より入力解像度の方が高い場合
- ビデオの信号で［アスペクト］を“ズーム”に設定している場合

お知らせ

- ズームおよび画像移動は、入力を切り換えると解除されます。
- ズームは拡大率が大きいほど画像がぼけてみえます。これはドットを目立たなくするためにデジタル補正しているためです。
- メニュー画面を表示している時には、画面の移動はできません。

プレゼンテーションタイマーを使う

画面に表示のタイマーを確認しながらプレゼンテーションが行えます。
ゲージ表示のため残り時間が瞬時にわかります。



(1) TIMERボタンを押してタイマー設定表示を出します。

約10秒間操作をしないと表示は閉じます。

【タイマー設定表示】

すぐ表示を閉じるにはCANCELボタンを押してください。

(2) SELECT（◀▶）ボタンを押して時間を設定します。

設定内容は オフ、10分～60分まで（10分刻み）

(3) ENTERボタンを押してタイマーを開始させます。

- タイマー設定表示が閉じ、タイマー表示が出ると同時にタイマーを開始します。

【タイマー表示】

青のゲージで残り時間を知らせます。ゲージがなくなると時間です。
停止したまま表示しつづけます。

- タイマーを再スタートするにはENTERボタンを押します。同じ時間設定のタイマーが再開されます。
- タイマー表示を閉じるにはCANCELボタンを押してください。タイマー設定は“オフ”に戻ります。

タイマー表示の位置を移動させたいとき

リモコンのSELECT（▲▼◀▶）ボタンでタイマー表示移動可能範囲内の移動ができます。

お知らせ

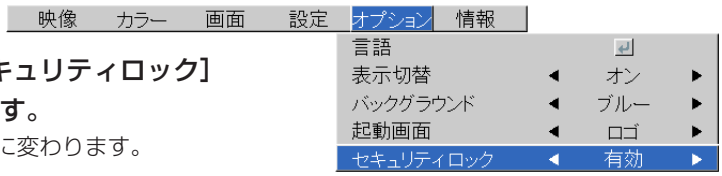
- タイマー表示はメニューやクイックメニューを表示させている間、メッセージを表示している間は閉じますがタイマーは動作しています。また、信号が入力されていないと表示しません。
- プレゼンタイマー表示中はズーム時の画面移動は行えません。

プロジェクタをセキュリティで保護する

プロジェクタのいたずら使用や他人の無断使用を避けるため、パスワードを登録してセキュリティを設定します。

■パスワード登録のしかた

パスワードの登録にはメニューでの操作が必要です。メニュー操作のしかたは➜38ページ「メニュー操作の方法」



(1) メニューの［オプション］で［セキュリティロック］項目を選択し、［有効］に設定します。

メニューが閉じて、パスワード登録表示に変わります。

(2) 数字ボタン（1～4）を使って登録します。

必ず4桁入力してください。

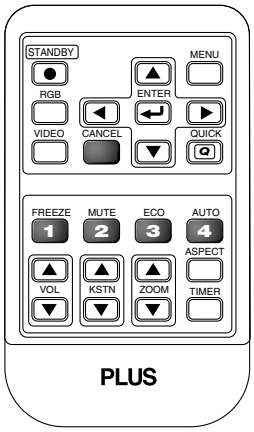
例 パスワード　2441　を登録します。

① 数字ボタンの「2」を押すと1桁目に“＊（アスタリスク）”付きます。

続けて「4」「4」「1」と数字ボタンを押していくと4桁に“＊”が付きます。

② 登録入力した数字をもう一度入力します。登録する数字と同じであればパスワード確認入力に“＊”が付きます。間違いがあると“＊”が消えます。①からやり直してください。

正しければ、パスワード登録表示が閉じます。



お知らせ 入力を取り消す場合は、CANCELボタンを押してください。“＊”が消えて1桁目の入力待機に戻ります。

セキュリティ登録をやめるにはもう一度CANCELボタンを押してください。［パスワード］表示が閉じます。

これで、パスワードの登録が終わりました。
次回に電源を入れると「パスワード」入力表示がでます。

お願い

入力した数字は表示されませんので必ず登録番号をメモ書きし、大切に保管してください。

- 一度設定したパスワードは、大変重要なものです。お客様の責任において人目につかない場所に保管していただくようお願いいたします。
- 万が一、お客様によってセキュリティー機能が解除できない場合は、製品の製造番号、お名前等の確認をさせていただくことになりますので、あらかじめご了承ください。

■電源を入れたときパスワード入力表示されたとき

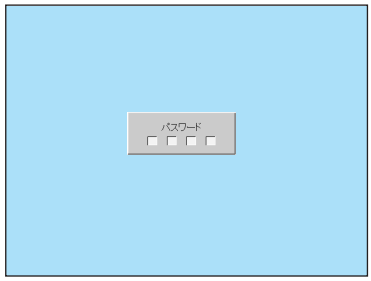
パスワードの登録をすると、電源を入れると投映画面に「パスワード」入力画面が表示されます。パスワードを入力しないとプロジェクタはこの画面を表示し続けます。このときSTANDBYボタン（電源　切）以外は動作しません。次の手順で登録済みのパスワードを入力してください。パスワード登録のしかたは➜35ページ

数字ボタン（1～4）を使って入力します。

必ず登録済みの4桁を入力してください。

例　パスワード　2441　を入力します。
数字ボタンの「2」を押すと1桁目に“＊（アスタリスク）”付きます。

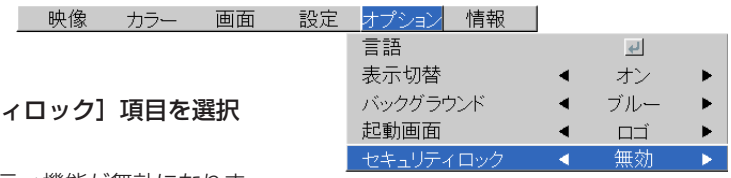
続けて「4」「4」「1」と数字ボタンを押していくと4桁に“＊”が付きます。
パスワードが一致すれば表示が消えプロジェクタが使える状態になります。



【パスワード入力画面】

■パスワードを解除する／パスワードを変更する

パスワードの解除／変更にはメニューでの操作が必要です。メニュー操作のしかたは➜38ページ「メニュー操作の方法」



●パスワードを解除する

メニューの［オプション］で［セキュリティロック］項目を選択し、［無効］に設定します。

これで、パスワードがクリアされ、セキュリティ機能が無効になりました。次回電源を入れたときは、パスワード入力表示はでません。

●パスワードを変更する

上記の操作で［セキュリティロック］を［無効］に切り換えた後、再び［有効］に設定します。メニューが閉じて、パスワード登録表示に変わります。
新しいパスワードを登録してください。➜35ページ「パスワード登録のしかた」

クイックメニューを使う

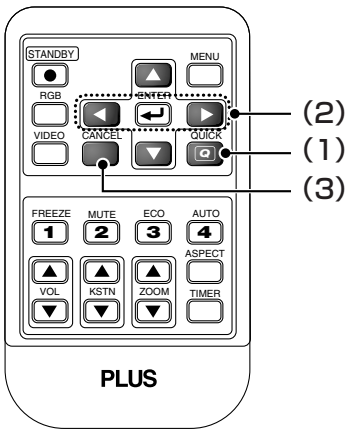
よく使う調整が素早くできます。
接続機器の信号が入力されていないと、クイックメニューは表示しません。
調整したい入力を選択してください。

〈リモコン操作〉

(1) QUICKボタンを押すとクイック調整表示が出ます。
さらに押すと順次調整表示が切り換わります。
SELECT▲または▼ボタンでも調整表示が切り換わります。

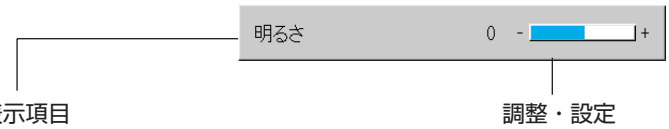
(2) SELECT◀ または▶ボタンを押して調整します。

(3) すぐ表示を閉じるにはCANCELボタンを押します。
約10秒間操作をしないと表示は閉じます。



【調整・設定の内容】

【例：明るさ調整表示】



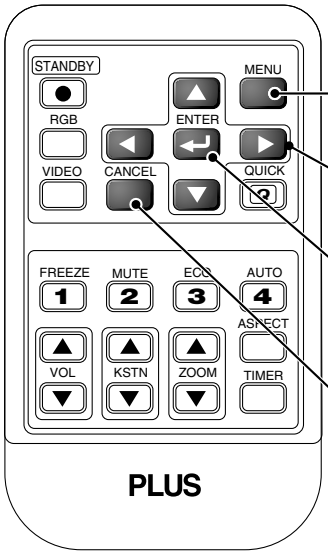
デュアルカラーモード	プリセットされたカラーモードを選択します。➜47ページ
明るさ	映像の明るさを調整します。➜45ページ
コントラスト	映像のコントラストを調整します。➜45ページ
ボリューム	内蔵スピーカの音量を調整します。➜32ページ

メニュー操作の方法

- メニューの操作方法のみを説明します。メニュー操作中にわからなくなったらこの項目をご覧ください。
- メニューの機能や調整・設定のしかたは各々の説明ページをご覧ください。
- 調整・設定は映像を映して、最適な状態に調整します。
- リモコンはプロジェクタのリモコン受光部に向けて操作してください。
- メニューで変更した色々な項目を標準値（工場出荷時の状態）に戻す場合は➜57ページ「初期化」をご覧ください。（初期値に戻らない項目もあります。）
- 入力選択によって調整／設定項目や内容が異なり、その入力信号で可能な調整／設定項目をメニュー表示します。

■ メニュー操作で使うボタンの名称とはたらき

【リモコン】



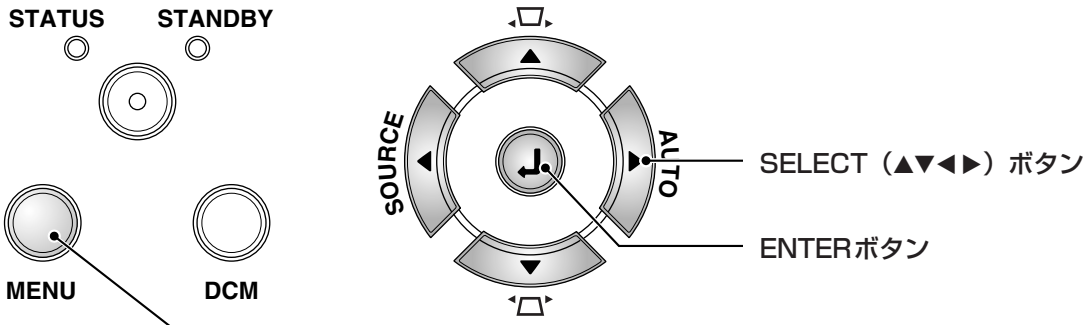
MENUボタン
メニューの表示とメニューを閉じるときに使います。

SELECT（▲▼◀▶）ボタン
メニュー名の選択と項目名の選択、項目内容の設定・調整に使います。

ENTERボタン
決定に使います。

CANCELボタン
メニュー名選択に戻すときとメニューを閉じる（サブメニューの表示を閉じる）ときに使います。

【本体】



SELECT（▲▼◀▶）ボタン

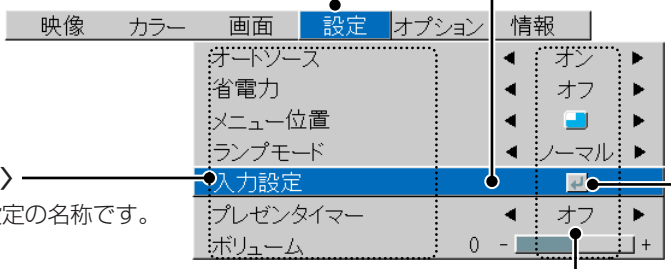
ENTERボタン

MENUボタン
メニューの表示、メニュー名選択に戻す、メニューを閉じる（サブメニューの表示を閉じる）ときに使います。

■ メニュー画面の名称とはたらき

〈メニュー名〉
メニューの見出しです。メニューを選択すると見出しの画面に変わります。選択されたメニュー名にカーソル（紺色）が移動します。

〈カーソル（紺色）〉
カーソル位置の項目の設定／調整ができます。

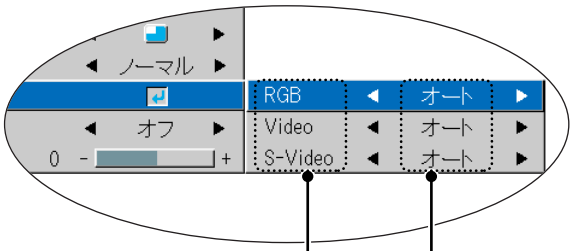


〈項目名〉
調整・設定の名称です。

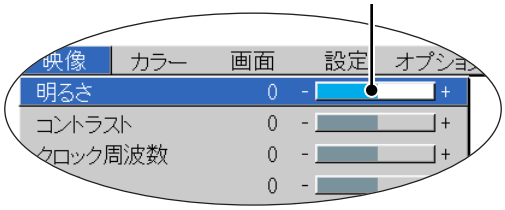
アイコン：ENTERボタンを押すとサブメニューや設定内容を表示します。

調整バー・設定内容
調整バー：バーの増減で調整状態を表します。
設定内容：設定されている内容を表示します。

〈サブメニュー〉



調整バー



〈項目名〉　**設定内容**

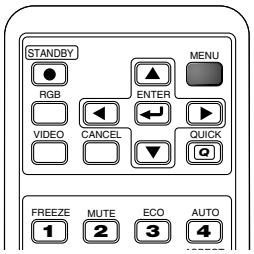
メニュー操作のしかた

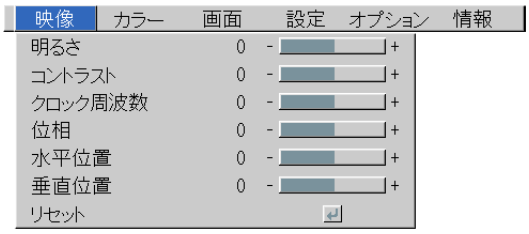
- 信号を入力していないときは、［設定］、［オプション］、［情報］のみ選択できます。
- ボタンを押して30秒間次のボタン操作をしないと、メニュー表示は閉じます。
- 調整・設定値は電源を切っても、コンセントを抜いても記憶しています。
  （記憶しない項目もあります。）

準備 **接続機器の電源を入れ、再生操作などをして本機に信号を入力してください。**
調整したい入力を選択してください。
説明図のメニュー表示は項目名［キーストーン］を選択する場合の例です。

メニューの表示

1 MENUボタンを押して、メニューを表示させる

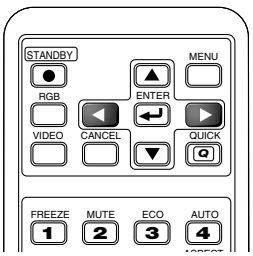


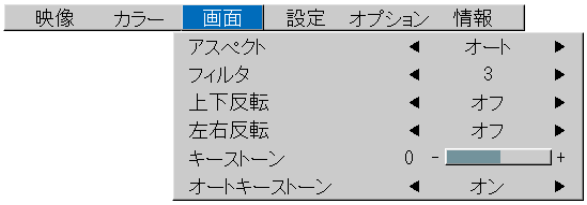


前回メニューを閉じたときのメニュー名を表示します。

メニュー名の選択

2 SELECT（◀▶）ボタンを押してメニュー名を選択する





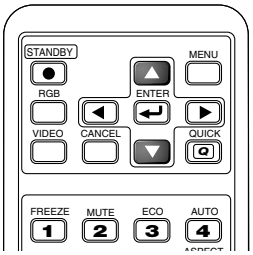
SELECT▶ボタンを押すごとに［カラー］→［画面］→［オプション］→［設定］→［情報］→［映像］の方向へ順次変わります。SELECT◀ ボタンは押すごとに戻ります。選んだメニュー名にカーソルが移動します。

お知らせ

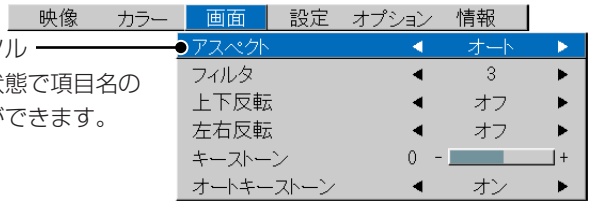
- メニュー名選択時は項目名のカーソルが消えていることをご確認ください。
  カーソルを消すには、CANCELボタンを押します。

カーソルを出す

3 SELECT▼ボタンを押して項目名選択のカーソルを出す

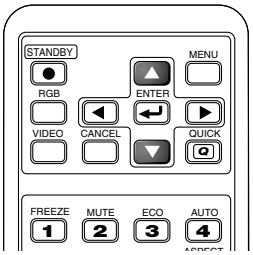


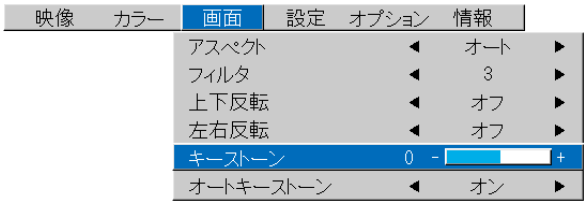
カーソル
この状態で項目名の選択ができます。



項目名の選択

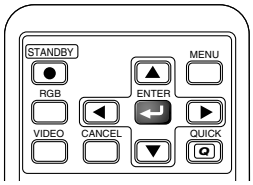
4 SELECT（▲▼）ボタンを押してカーソルを項目名に合わせる

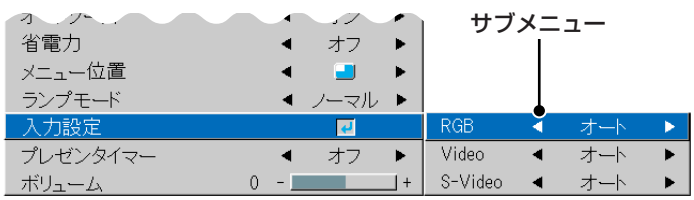




アイコンを表示している項目の場合

ENTERボタンを押すとサブメニューを表示します。
SELECT（▲▼）ボタンを押してカーソルを目的の項目名に合わせます。
また、設定表示や確認表示が出る項目もあります。各項目説明をご覧ください。

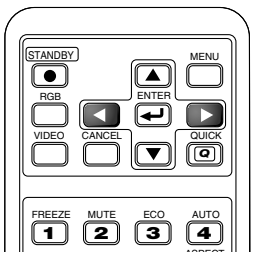


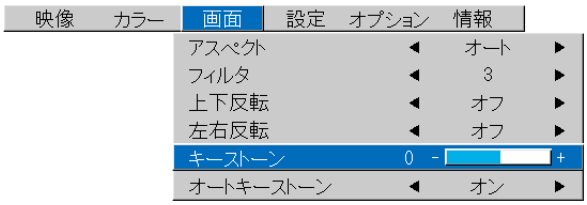


調整／設定をする

5 SELECT（◀▶）ボタンを押して画像を見ながら調整（または設定）する

ボタンを押すと画像も変化します。

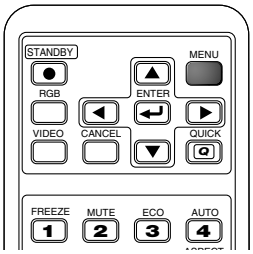




調整表示の場合は、押すごとに変化し、押し続けると順次変化していきます。
設定表示の場合は、設定内容表示が押すごとに切り換わります。

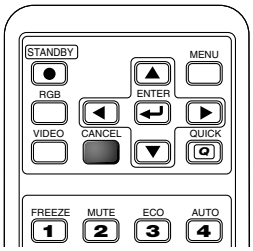
終わる

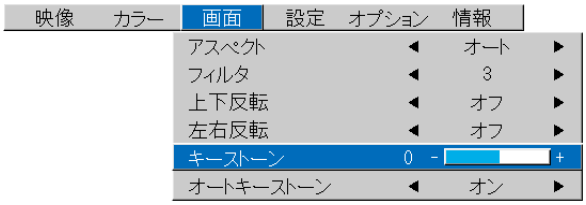
6 MENUボタンを押してメニュー表示を閉じる

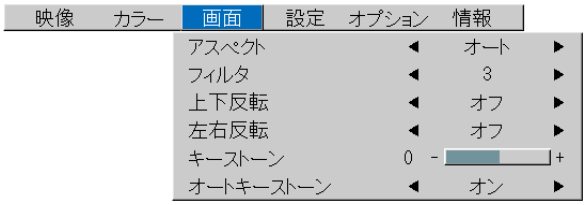


■ メニュー表示中に他のメニュー名を選択する場合

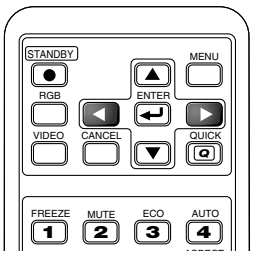
サブメニューを表示している場合は、CANCELボタンを押してサブメニューを閉じます。さらにCANCELボタンを押して項目名のカーソルを消します。

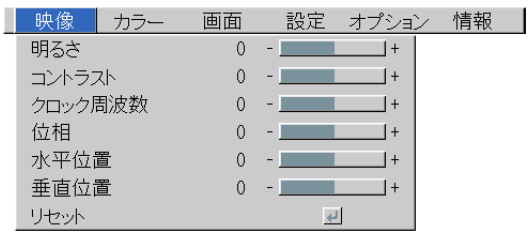






SELECT（◀▶）ボタンを押してメニュー名を選択してください。（項目名のカーソルを表示しているとメニュー名の選択はできません。）





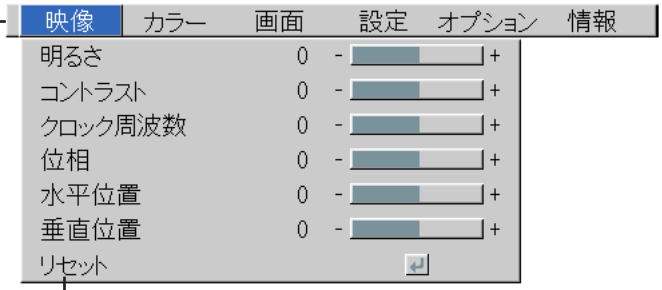
お知らせ

- メニュー表示中にQUICKボタンを押すと、メニューを閉じクイックメニューを表示します。また、クイックメニュー表示中にMENUボタンを押すとクイックメニューを閉じてメニューを表示します。

入力選択と調整／設定可能な項目名の一覧表

入力信号によっては調整／設定できる項目名が異なります。

【入力信号RGB選択時のメニュー表示項目例】



メニュー名	項目名	サブメニュー項目名	入力信号 コンポーネント	RGB	VIDEO	S-VIDEO	参照ページ
映 像	明るさ		○	○	○	○	45
	コントラスト		○	○	○	○	45
	カラー				○	○	45
	色相		○		○	○	45
	シャープネス				○	○	45
	クロック周波数			○			45
	位相			○			46
	水平位置			○			46
	垂直位置			○			46
	リセット		○	○	○	○	46
カラー	デュアルカラーモード		○	○	○	○	47
	ガンマ		○	○	○	○	47
	色温度		○	○	○	○	48
	ホワイト		○	○	○	○	48
	カラースペース		○				48
	ホワイトバランス			○			49
画 面	アスペクト		○	○	○	○	50
	フィルタ		○	○	○	○	50
	上下反転		○	○	○	○	51
	左右反転		○	○	○	○	51
	キーストーン		○	○	○	○	51
	オートキーストーン		○	○	○	○	51

［色相］はNTSC方式のコンポジット／S信号入力時のみ調整できます。

メニュー名	項目名	サブメニュー 項目名	入力信号 コンポーネント	RGB	VIDEO	S-VIDEO	参照ページ
設定	オートソース		○	○	○	○	52
	省電力		○	○	○	○	52
	メニュー位置		○	○	○	○	52
	ランプモード		○	○	○	○	53
	入力設定	RGB	○	○	○	○	53
		Video	○	○	○	○	54
		S-Video	○	○	○	○	54
	プレゼンタイマー		○	○	○	○	54
	ボリューム		○	○	○	○	54
オプション	言語		○	○	○	○	55
	表示切替		○	○	○	○	55
	バックグラウンド		○	○	○	○	55
	起動画面		○	○	○	○	56
	セキュリティロック		○	○	○	○	56
情 報	ステータス		○	○	○	○	57
	初期化		○	○	○	○	57
	ランプ使用時間リセット		○	○	○	○	57
	解像度		○	○	○	○	58
	周波数		○	○	○	○	58
	ランプ使用時間		○	○	○	○	58

映　像

● **調整／設定したい画像を映した状態で操作してください。**

● **メニュー名［映像］を選んでください。**

メニュー操作のしかたは、➜38ページ「メニュー操作の方法」をご覧ください。

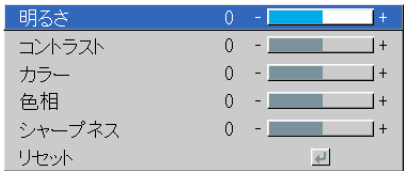
入力信号によって項目名表示が異なります。➜43ページ「入力選択と調整／設定可能な項目名の一覧表」をご覧ください。

明るさ／コントラスト／カラー／色相／シャープネス

明るい部屋、暗い部屋によって明るさやコントラストなどがかわります。お好みに調整してください。

目的の項目名を選んでから、SELECT（◀▶）ボタンで調整します。

項目名	SELECT◀ボタン	SELECT▶ボタン
明るさ	暗くなります	明るくなります
コントラスト	画像が淡くなります	画像が濃くなります
カラー	色が淡くなります	色が濃くなります
色相	赤みがかります	緑がかります
シャープネス	やわらかい画像になります	くっきりした画像になります

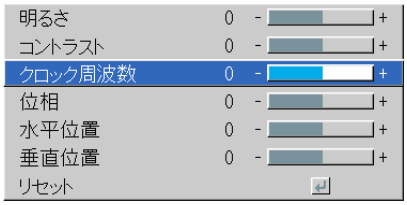


お知らせ

- 調整可能な項目の調整値は、入力ソース別に記憶されます。
- ［色相］はNTSC方式のコンポジット／S信号入力時のみ調整できます。

クロック周波数／位相／水平位置／垂直位置

通常は信号選択時に自動調整しますが、自動調整しきれない場合に調整します。



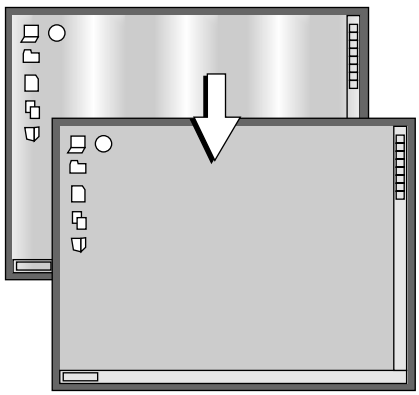
お知らせ

- 画像が画面よりはみ出す場合や小さい場合は、メニューの［画面］→［アスペクト］設定が“オート”に設定されていることをご確認ください。➜50ページ「アスペクト」

■クロック周波数

画面に明暗の縦帯が出ている場合に調整します。

項目名［クロック周波数］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで縦帯が取れて、画面の明るさが一定になるように調整します。

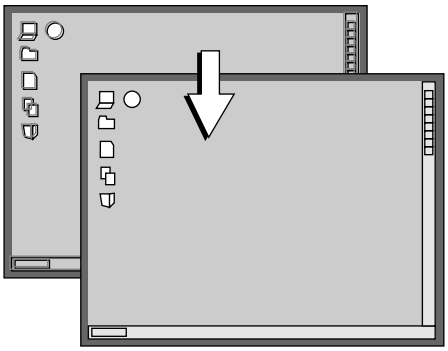


次ページに続く

■位相

画面の色ズレ、ちらつきが出ている場合に調整します。

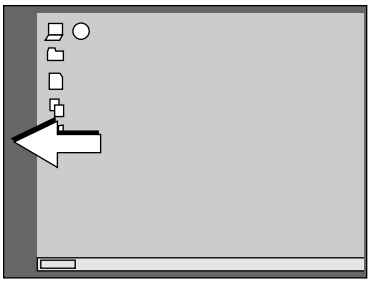
項目名［位相］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで
色ズレやちらつきが目立たなくなるように調整します。



■水平位置

画面が左または右にずれているときに調整します。

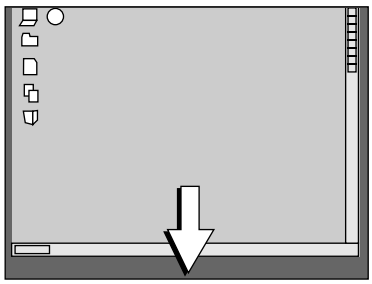
項目名［水平位置］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで調整します。



■垂直位置

画面が上または下にずれているときに調整します。

項目名［垂直位置］を選択し、SELECT（▲▼）ボタンで調整します。



リセット

メニュー名の［映像］の調整／設定値をリセット（標準設定に戻す）します。

ENTERボタンを押すとリセットされます。

お知らせ

- RGB入力時の項目名“位相”はリセットされません。
- メニュー名［映像］の［リセット］は各入力ソース毎にリセットすることができます。
- 全てのメニュー項目の調整／設定をリセットするには（リセットしない項目もあります）、
➜57ページ「初期化」をご覧ください。

カラー

● **調整／設定したい画像を映した状態で操作してください。**
● **メニュー名［カラー］を選んでください。**
メニュー操作のしかたは、➜38ページ「メニュー操作の方法」をご覧ください。
入力信号によって項目名表示が異なります。➜43ページ「入力選択と調整／設定可能な項目名の一覧表」をご覧ください。

デュアルカラーモード

プリセットされたカラーモードを選択します。

項目名［デュアルカラーモード］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで設定内容を選択します。

ダイナミック……明るさ優先の選択です。
ビビッド……色優先の選択です。

ガンマ

ガンマは入力信号の明るい部分から暗い部分の変化の割合を補正します。
自然な色合いを再現したり、明るい会議室でパソコン画像をくっきりと投映するときなどに設定します。

項目名［ガンマ］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで設定内容を選択します。

ノーマル……標準的な補正をします。
ナチュラル……自然な色合いになるように補正します。
リアル……明るさ重視の補正をします。

色温度

スクリーンは照明などの外光色に影響をうけます。
映像機器の基本色である白色を調整して色の再現性を高めます。
また肌色重視の映像にすることもできます。

項目名［色温度］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで設定内容を選択します。

低……暖色系の白（赤みがかる）になります。
中……暖色系の白（黄みがかる）になります。
標準……日光の白になります。
高……寒色系の白（青みがかる）になります。

ホワイト

パソコンでの文書や図面など、白を強調して投映するときに使います。

項目名［ホワイト］を選択し、SELECT（◀ ▶）ボタンで設定内容を選択します。

“低” “中” “高”の中からお好みのホワイトを選択します。

お知らせ ［デュアルカラーモード］の「ビビッド」を選択しているときは、ホワイトの調整項目はグレイ表示され、選択および調整はできません。➜47ページ「デュアルカラーモード」

カラースペース

コンポーネント信号を映したとき、赤っぽい映像または、緑っぽい映像のときに設定します。

項目名［カラースペース］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで正常な映像になるカラースペースを選択します。

選択内容
BT.709、SMPTE240

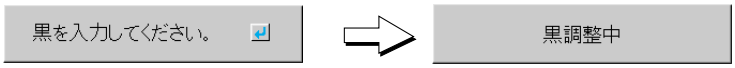
お知らせ

- コンポーネント信号をプロジェクタの映像表現である赤・緑・青色に変換処理する場合、入力信号の色差変換方式に準拠した方式を使用しないと正しい色が再現できません。これを選択するのがカラースペースです。
- カラースペースが調整できるのはHDTVのみです。

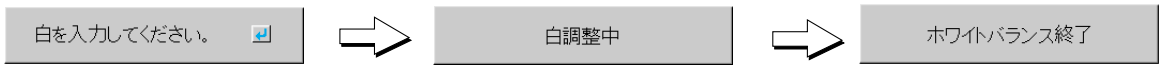
ホワイトバランス

アナログRGB入力信号の黒レベルと白レベルをパソコンに合うように自動調整します。これにより色の再現性が高まります。

1. 項目名［ホワイトバランス］を選択し、ENTERボタンを押します。［黒を入力してください。］の表示に変わります。
2. 接続しているパソコンの画面の背景を黒にします。
3. ENTERボタンを押します。［黒調整中］の表示に変わり黒レベルを調整します。



4. 黒レベルの調整が終わり、［白を入力してください。］の表示に変わります。
5. 接続しているパソコンの画面の背景を白にします。
6. ENTERボタンを押します。［白調整中］の表示に変わり白レベルを調整します。



［ホワイトバランス終了］をしばらく表示して、調整を終了します。

画 面

● **調整／設定したい画像を映した状態で操作してください。**

● **メニュー名［画面］を選んでください。**

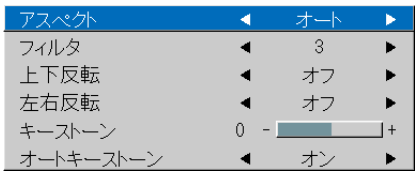
メニュー操作のしかたは、➜38ページ「メニュー操作の方法」をご覧ください。

入力信号によって項目名表示が異なります。➜43ページ「入力選択と調整／設定可能な項目名の一覧表」をご覧ください。

アスペクト

入力信号の横と縦のアスペクト比の設定です。

項目名［アスペクト］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで設定内容を選択します。



パソコンの信号

オート ……自動で4：3に拡大／縮小して画面いっぱいに投映

ダイレクト ……アスペクト比を維持したまま表示可能な最大の大きさで投映

リアル ……入力信号を画素変換しないで投映

ビデオの信号／コンポーネントの信号

オート ……アスペクト比を維持したまま画面からはみ出す部分が無いように画面いっぱいに投映します。
（16：9の映像は上下が黒くなります。）

ワイド ……全て16：9で横幅いっぱいに投映します。
（スクイーズ画面を正しいアスペクト比で投映する場合に使います。）

ズーム ……16：9やレターボックス中の4：3部分のみを画面いっぱいに投映します。
（はみ出た部分はカットされます）

● 入力信号と投映画面のイメージ図は➜30ページ「アスペクト比の選択」をご覧ください。

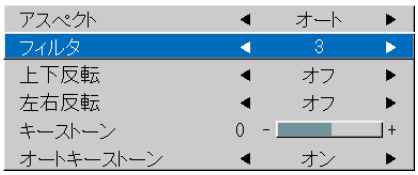
お願い

4：3画面をワイドで投映したり、スクイーズ画面をつぶした映像のまま、喫茶店やホテル等で、営利目的または公衆に視聴させる目的として使用すると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

フィルタ

入力信号を本機の解像度に合わせて拡大または縮小したときの鮮明度の設定です。

項目名［フィルタ］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで設定内容を選択します。



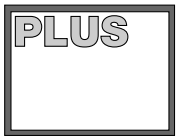
数値の少ない方がシャープになり、大きい方がソフトな画像になります。
お好みの設定値を選択してください。

上下反転／左右反転

スクリーンへの投映方法の選択で、プロジェクタを背面設置する場合に設定します。

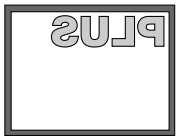
項目名［上下反転］または［左右反転］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで設定内容を選択します。

［上下反転］オフ
［左右反転］オフ

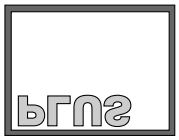


［上下反転］オフ
［左右反転］オン

［上下反転］オン
［左右反転］オン



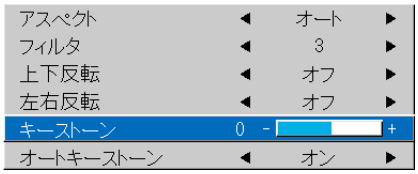
［上下反転］オン
［左右反転］オフ



キーストーン

プロジェクタとスクリーンが斜めに（上下方向）なっていると台形の歪みが生じます。この歪みを手動で調整するときに使います。

項目名［キーストーン］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで台形状の歪みを修正します。



▶ボタンを押す

◀ボタンを押す

お知らせ

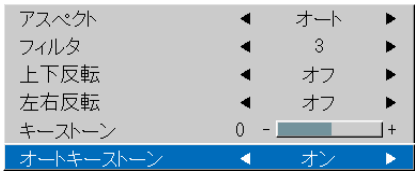
- メニューなどのオンスクリーン表示は調整できません。
- 投映画像の内容や投映状態によっては、画像が充分に補正されない場合がありますので、予めご了承ください。
- キーストーンの調整値は、オートキーストーン機能がオフ時には、電源を切っても保存されています。
- オートキーストーン機能につきましては➜27ページ「投映画面を調整する」、本体、リモコンによる手動調整につきましては➜32ページ「キーストーンの手動調整」をご覧ください。

オートキーストーン

台形の歪みを自動で調整する場合に設定します。

項目名［オートキーストーン］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで設定します。

オン ……自動で調整します。
オフ ……自動調整されません。



お知らせ

- オートキーストーン機能につきましては➜27ページ「投映画面を調整する」、本体、リモコンのボタンによる手動調整につきましては➜32ページ「キーストーンの手動調整」、および上記「キーストーン」をご覧ください。

設　定

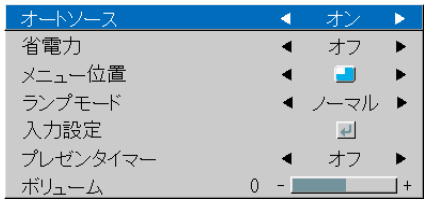
● **メニュー名［設定］を選んでください。**

メニュー操作のしかたは、➜38ページ「メニュー操作の方法」をご覧ください。

入力信号によって項目名表示が異なります。➜43ページ「入力選択と調整／設定可能な項目名の一覧表」をご覧ください。

オートソース

オートソースは電源を入れたとき、入力を切り換えたときに入力されている信号を自動で検出する機能です。



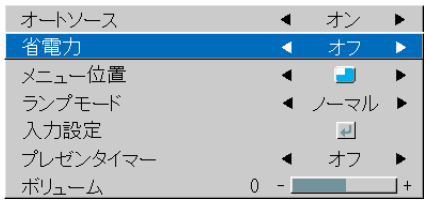
項目名［オートソース］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで設定内容を選択します。

オン ……自動検出します。
オフ ……自動検出しません。

“オン”時の信号検出順は…
RGB→Video→S-Video をくり返し検索します。
信号を検出すると検索をやめ投映します。

省電力

プロジェクタの入力が無信号状態になったとき、自動でプロジェクタの電源を切ります。



項目名［省電力］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで設定内容を選択します。

オン ……無信号時に電源を切ります。
オフ ……無信号でも電源は切りません。

“オン”時の動作

- 無信号状態が約10秒つづくと、“No Signalパワーオフ”表示が出ます。約5分後に電源が切れます。
- 表示が出ている間に信号を入力するか、STANDBYボタン以外の操作ボタンを押すと表示を閉じて解除されます。

お知らせ

- ビデオデッキなどには再生が終了するとビデオデッキ側からブルーバックなどの映像を出力する機器があります。この場合は本機に信号が入っていますので動作しません。

メニュー位置

メニューの表示位置を設定します。

項目名［メニュー位置］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで設定内容を選択します。

▀ ……左側に表示します。
▀ ……右側に表示します。

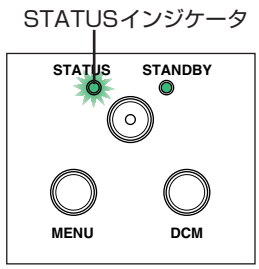
ランプモード

小さいスクリーンサイズで映して画面が明るすぎるときや暗い室内で映す場合に使います。

項目名［ランプモード］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで設定内容を選択します。

エコ ……ランプの輝度が約80%になり、ランプ寿命がのびます。
（STATUSインジケータ緑点灯）

ノーマル ……ランプの輝度が100%になり、明るい画面になります。
（STATUSインジケータ消灯）



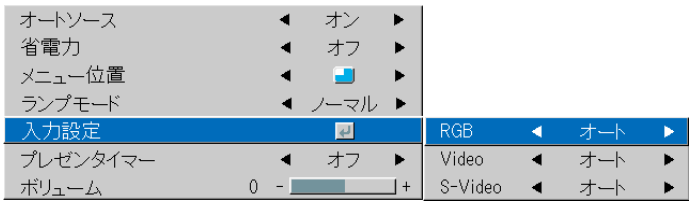
お知らせ

- ランプモードを頻繁に切り換えるとランプ劣化の原因となることがあります。

入力設定

入力端子の入力信号の設定に使います。
通常はオートに設定してください。オートで識別できない場合に設定します。

項目名［入力設定］を選択し、ENTERボタンを押すと、サブメニューが開きます。
変更する端子を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで設定内容を選択します。



[RGB]
RGB端子の信号設定です。
オート ……信号を自動判別します。
RGB ……アナログRGB信号が設定されます。
コンポーネント …コンポーネント信号が設定されます。

次ページに続く

[Video]、[S-Video]

［Video］はVIDEO端子のカラー方式、［S-Video］はS-VIDEO端子のカラー方式の設定です。

オート ……自動判別します。
NTSC ……NTSC方式に固定します。
NTSC 4.43 ……NTSC 4.43方式に固定します。
PAL ……PAL方式に固定します。
PAL M ……PAL M方式に固定します。
PAL N ……PAL N方式に固定します。
PAL 60 ……PAL 60方式に固定します。
SECAM ……SECAM方式に固定します。

プレゼンタイマー

画面の表示タイマーを確認しながらプレゼンテーションが行えます。
ゲージ表示のため残り時間が瞬時にわかります。

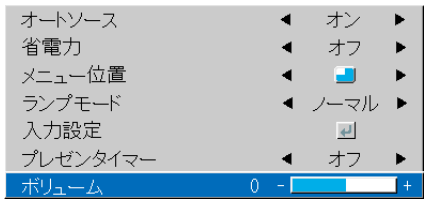
項目名［プレゼンタイマー］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで設定内容を選択します。

設定内容……オフ、10分、20分、30分、40分、50分、60分

タイマーを開始させるには
MENUボタンを押してメニューを閉じます。
タイマー表示が右下に出てタイマーを開始します。
詳しくは、➜34ページ「プレゼンテーションタイマーを使う」

ボリューム

内蔵スピーカの音量を調整します。



項目名［ボリューム］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで音量を調整します。

オプション

● **メニュー名［オプション］を選んでください。**

メニュー操作のしかたは、➜38ページ「メニュー操作の方法」をご覧ください。

入力信号によって項目名表示が異なります。➜43ページ「入力選択と調整／設定可能な項目名の一覧表」をご覧ください。

言語

メッセージやメニュー表示などのオンスクリーンに表示する言語の設定です。

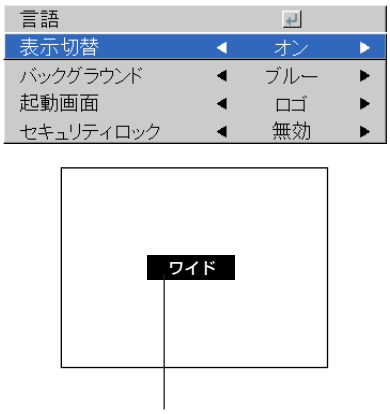
項目名［言語］を選択し、ENTERボタンを押すと言語のサブメニューが開きます。
SELECT（▲▼）ボタンで言語を選択します。

表示切替

入力信号情報やアスペクトなど黒枠で表示するメッセージをオン／オフします。

項目名［表示切替］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで設定内容を選択します。

オン ……メッセージを表示します。
オフ ……メッセージを表示しません。



ASPECTボタンを押したときの表示例

お知らせ

- オフに設定しても黒枠でないメッセージは表示します。

バックグラウンド

入力ソースが無信号時の画面色の設定です。

項目名［バックグラウンド］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで設定内容を選択します。

ブルー ……無信号時ブルー画面になります。
ブラック ……無信号時ブラック画面になります。

起動画面

スタートアップ時のロゴ画面の表示／非表示の選択です。

項目名［起動画面］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで設定内容を選択します。

ロゴ ……ロゴを表示します。
ブランク …ロゴを表示しません。

お知らせ

- 起動画面で“ロゴ”を選択した時、“PLUS”のロゴが表示されます。

セキュリティロック

プロジェクタのいたずらや無断使用を避けるため、パスワードを登録してセキュリティを設定します。

セキュリティ機能の使いかたは、➜35ページ「プロジェクタをセキュリティで保護する」をご覧ください。

項目名［セキュリティロック］を選択し、SELECT（◀▶）ボタンで設定内容を選択します。

無効 ……セキュリティが無効になります。
パスワードを入力しなくてもプロジェクタが動作します。
有効 ……セキュリティが有効になります。
電源を入れるとセキュリティがはたらき、パスワードを入力しないとプロジェクタは動作しません。

情　報

● **メニュー名［情報］を選んでください。**

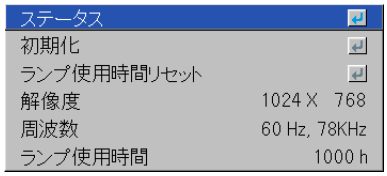
メニュー操作のしかたは、➜38ページ「メニュー操作の方法」をご覧ください。

入力信号によって項目名表示が異なります。➜43ページ「入力選択と調整／設定可能な項目名の一覧表」をご覧ください。

ステータス

機器の情報を表示します。

項目名［ステータス］を選択し、ENTERボタン押します。
ステータス表示に変わります。
CANCELボタンを押すとメニューに戻ります。



表示内容

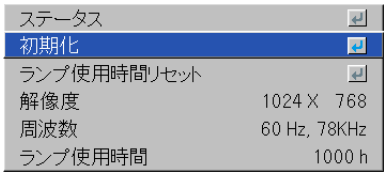
本機の名称
バージョン情報
弊社のインターネットホームページアドレス

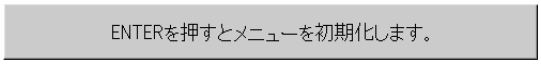
初期化

全ての入力ソースの調整や設定を標準（工場設定値）に戻します。

項目名［初期化］を選択し、ENTERボタンを押します。
［“ENTER”を押すと初期化します。］の表示に変わります。

ENTERボタンを押すと初期化されます。
取りやめるときは、CANCELボタンを押すとメニューに戻ります。





初期化されない項目

上下反転／左右反転・言語・ランプ使用時間・セキュリティロック

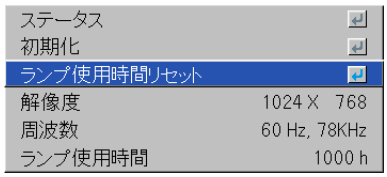
ランプ使用時間リセット

ランプの使用時間をリセットします。ランプカートリッジを交換したときは必ずリセット操作を行ってください。

項目名［ランプ使用時間リセット］を選択し、ENTERボタン押します。

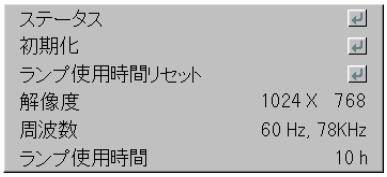
［“ENTER”を押すとランプ使用時間をリセットします。］の表示に変わります。

ENTERボタンを押すと初期化されます。
取りやめるときは、CANCELボタンを押すとメニューに戻ります。



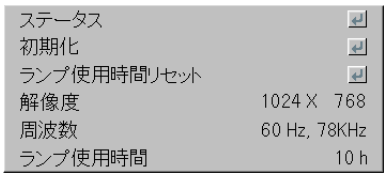
周波数／解像度

検出された入力信号の解像度と周波数を表示します。



ランプ使用時間

ランプ使用時間を表示します。



本機にはエコモード機能があります。ノーマルモードとエコモードではランプの寿命が異なります。

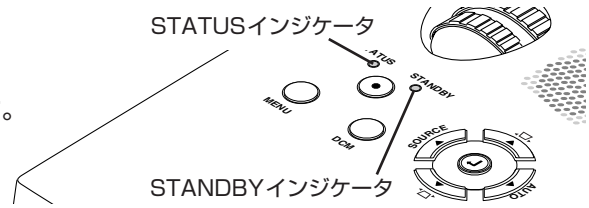
ランプ寿命
ノーマルモード時のみ使用：約1500時間
エコモード時のみ使用：約2000時間
※切り換えて使用している場合はランプ寿命が変動します。

- **ランプ寿命に到達した場合**
  画面上に［ランプを交換してください。］と1分間隔で10秒間表示します。
  新しいランプと交換してください。
  ランプカートリッジ交換のしかたは➜63ページ「ランプカートリッジの交換」をご覧ください。

- **ランプ寿命に到達後100時間を超えた場合（エコモード時も含む）**
  ［警告!!システムシャットダウン］と10秒間表示して強制的に電源を切ります。この状態の場合はSTANDBYボタンを押しても電源は入りません。ランプカートリッジを交換してください。

インジケータが点灯／点滅しているときは

本体操作部のインジケータが点灯したり点滅しているときは、下記の異常を知らせています。
電源の入／切の動作状態もインジケータで知らせます。
➜ 24ページ「電源コードの接続と入／切」



インジケータの状態		行ってください
STATUS 赤点灯	**STANDBY** 電源ON時（緑点灯） スタンバイ時（オレンジ点灯）	**ランプ交換時期です。** 新しいランプカートリッジに交換してください。
STATUS 赤点灯	**STANDBY** オレンジ60秒点滅後 オレンジ点灯	**ランプ寿命です。電源は入りません。** ランプ寿命到達後100時間使用しています。 新しいランプカートリッジに交換してください。
STATUS 赤点滅（1秒点灯／1秒消灯）	**STANDBY** 赤点灯	**ランプカバーが開いています。** ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。
STATUS 赤点滅（0.5秒点灯／0.5秒消灯）	**STANDBY** 赤点灯	**温度が異常に高くなっています。** ● 温度プロテクタが作動しています。室温が高い場合は、プロジェクタを涼しい場所へ移動してください。プロジェクタの内部温度が高い場合は、冷却ファン通風孔を調べて、目詰まりしているときは掃除をしてください。 ● 温度プロテクタが作動すると電源が切れ、すぐ電源を入れても、電源が入らないことがあります。その場合は90秒間待ってからもう一度電源を入れてください。
STATUS 赤点滅（0.5秒点灯／0.5秒消灯）	**STANDBY** オレンジ点灯	**ファンが停止しています。** 電源コードを抜き、販売店または弊社「カスタマーセンター」へ修理を依頼してください。
STATUS 赤点滅（1秒点灯／1秒消灯）	**STANDBY** **使用中にランプが消えた場合** オレンジ90秒点滅してから オレンジ点灯 **最初からランプがつかない場合** オレンジ点灯	**ランプが点灯しません。** 90秒以上待って再度電源を入れてください。それでもなおらない場合は、電源コードを抜き、販売店または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

インジケータが正常状態および上記以外の間隔で点滅しているときは、電源コードを抜き、販売店または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

温度プロテクタについて

プロジェクタ内部の温度が異常に高くなるとSTATUSインジケータが（0.5秒点灯／0.5秒消灯）赤点滅し、STANDBYインジケータは赤点灯して、同時に温度プロテクタが働いてプロジェクタの電源が切れます。
このときは、以下のことを行ってください。

1. **電源を切り電源プラグをコンセントから抜きます。**
2. **次の事項を確認し、必要な処置をしてください。**
   周囲温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
   排気孔、吸気孔を調べて、目詰まりしているときは掃除をしてください。
3. **プロジェクタの温度が下がるまで、約60分待ってください。**
   以上のことを行っても解決しないときは、販売店または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

故障かな？と思ったら

■修理を依頼される前に、つぎのことをご確認ください。

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	24
	● ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	65
	● 本機の温度が高くなっていませんか。本機の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。	59
	● ランプ寿命を超えて使用していませんか。	59
	● 電源コード挿入時（電源ON時）のタイミングによっては、STANDBYインジケータ（LED）が点灯せず電源が入らない場合がありますが、故障ではありません。その場合はもう一度、電源コードを抜き差ししてください。	—
映像が出ない	● 接続されている入力を選んでいますか。	29
	● 入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	19～22
	● パソコン接続の場合、パソコンから信号が出ていますか。	58
	● 本機の対応周波数以外の信号を入力していませんか。	67
	● 映像調整の明るさ、コントラストが最小になっていませんか。	45
	● STATUSインジケータが赤色で点灯または点滅していませんか。	59
	● DVDプレーヤのコンポーネント信号をRGB端子と接続しているとき、映像が出ない場合RGB端子の［入力設定］が正しく選択されていますか。	53
	● RGB入力の場合、画面調整を正しく行っていますか。	45・46
映像が歪む	● 正しく設置されていますか。	28
	● 台形状に歪む場合は台形補正の調整を行ってください。投映画像の内容や投映状態によっては、画像が充分に補正されない場合がありますので、予めご了承ください。	32・51
映像がぼやける	● レンズのフォーカス（焦点）は合っていますか。	27
	● 投映画面とプロジェクタが正しい距離で設置されていますか。	18
	● 投映距離がフォーカスの合う範囲を超えていませんか。	18
	● レンズなどが結露していませんか。気温の低い所に保管しておいて暖かい所で電源を入れるとレンズや内部光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるのをご確認後ご使用ください。	—
映像位置がずれて正常に表示されない	● パソコン入力の場合、水平位置、垂直位置を正しく調整しましたか。	46
	● 入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。パソコンの解像度をご確認ください。	67
ビデオ映像がつぶれている	● 映像が横または縦方向につぶれているときや画面一杯に映らない場合はアスペクト比の選択を行ってください。	30
映像全体の色がおかしい	● コンポーネント信号を入力している場合は、カラースペースの設定が異なっていませんか。	48
	● コンポジット入力の場合は、色相の調整がずれていませんか。	45

このようなとき	確認してください	参照ページ
RGB入力で文字がチラついたり色がずれている場合	● メニューの［映像］のクロック周波数、位相を調整してください。	45・46
メニュー名の選択ができない	● ［設定］、［オプション］、［情報］以外は本機に信号を入力して、映像／画像を投映していないと選択できません。	—
リモコンが操作できない	● リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。 ● リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。 ● リモコンの有効範囲を超えていませんか。 ● リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	16 16 16 16
STATUSインジケータが赤色で点灯または点滅する	●「インジケータが点滅／点灯しているときは」をご覧ください。	59

以上をご確認いただいても解決できない場合は、ご購入販売店または弊社カスタマーセンターをご利用ください。

お知らせ

- 青色になっている“カスタマーセンター”上に手アイコンを合わせるとアイコンに変わります。マウスをクリックすると“弊社カスタマーセンターお問い合わせ方法”にジャンプします。

お手入れについて

- **お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **プロジェクタ本体やレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。**

■プロジェクタ本体の汚れは……

- 毛羽立ちのすくない柔らかい乾いた布でふいてください。
  汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
  化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 排気孔・吸気孔のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。
- プロジェクタ本体を爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。

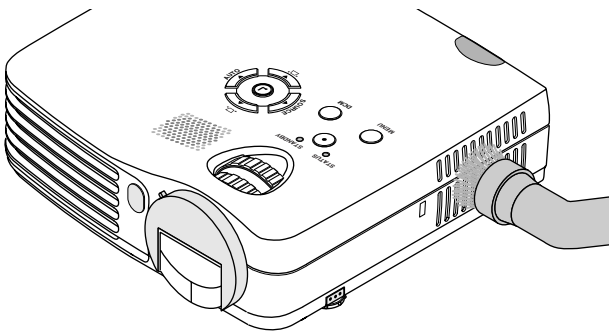
■レンズのよごれは・・・・・・

- カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようご注意ください。

■吸気孔、排気孔のほこりは……

吸気孔、排気孔にほこりがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。最低でも使用期間100時間を目安に掃除をしてください。

- 電源を切りSTANDBYインジケータがオレンジ色の点灯に変わったのを確認後、電源コードを抜いてください。
- 外側から電気掃除機で吸い取ってください。掃除機のブラシ付きのアダプタを使用してください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。



■本体内部の掃除は……

- 年に1度くらいは本体内部の掃除が必要です。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除はご自分でせず、必ず販売店または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

ランプカートリッジの交換

- 本機の光源に使われているランプには寿命があります。ランプの定格寿命は約1500時間です（ノーマルモードのみ使用時）。なお、ランプ寿命は約1500時間ですが、使用条件などにより早まる場合があります。なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ寿命が延びます。
  （定格寿命とは、長期間に製造されたランプの、寿命の平均値を言い、当社試験条件によるものです。）
- ランプの寿命を超えるとSTATUSインジケータが赤点灯し、メッセージ［ランプを交換してください。］が画面上に表示されます。この場合はランプカートリッジの交換時期です。以下の手順にしたがって交換してください。
- ランプ寿命から100時間使用すると、スタンバイ状態になり電源が入らなくなります。
- 交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際はV-339専用交換用ランプ型名V-123（注文コード28-059）とご指定ください。

⚠ 注意

●ランプカートリッジの交換は、電源を切り、STANDBYインジケータがオレンジの点灯に変わったのを確認後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。
動作中や停止直後にランプカートリッジを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

●交換作業は危険防止のため、顔より下の位置で行ってください。
顔より上の位置で行いますと、万一ランプカートリッジが破裂していた場合、ガラスの破片等が目などに入り、けがなどの原因となることがあります。

●指定のネジ以外は外さないでください。

●プロジェクタの光源には、内部圧力の高い水銀ランプ（以下、高圧水銀ランプ又はランプと言う）を使用しております。取り扱いには十分にご注意ください。

●ランプの使用時間が1500時間（ノーマルモードのみ使用時）を超えると、本体のSTATUSインジケータが赤点灯します。
ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。

●高圧水銀ランプは衝撃や傷、使用時間の経過による劣化の原因により、不点灯状態となって寿命が尽きたり、大きな音をともなって破裂したりする特性があります。

●ランプカートリッジのガラスの部分を素手で触らないでください。ランプの破裂や寿命が短くなる原因となります。また、ランプは使用条件や個体差によって寿命が異なります。
まれにですが、使用後まもなく破裂する事もあります。

●高圧水銀ランプが破裂したとき、ランプハウスの中にガラスの破片が飛び散りランプ内部のガスがプロジェクタの通風孔を通じ外に漏れる可能性があります。
ランプが破裂した際には顔や手などを近づけず、速やかに販売店もしくは弊社「カスタマーセンター」（ 0120-331-059）にランプの交換と内部の点検を依頼してください。

●高圧水銀ランプの内部には、水銀等の人体に有害な物質が含まれております。ランプが破裂したときにプロジェクタの近くに顔や手などがあり、万が一ランプから発生したガスを吸い込んだり、体に付着した場合には、速やかに医師にご相談ください。

●プロジェクタのランプは、蛍光灯やハロゲンランプと同じ有害物質（水銀、ハロゲン物質等）を使用しております。
ご使用後のランプは、一般的な蛍光灯などと同じ分別方法で廃棄してください。

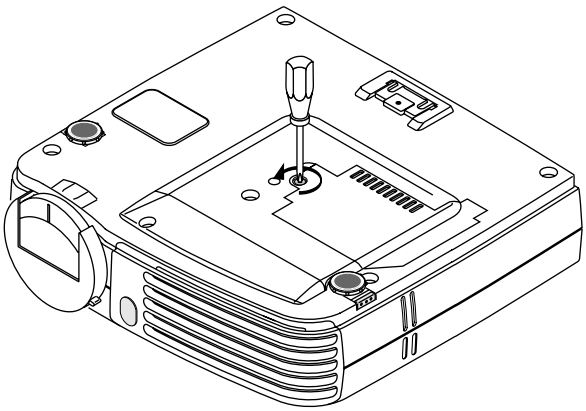
準備 プロジェクタ本体を裏がえしにして柔らかい布などを敷いて、傷がつかないように置くと、交換しやすくなります。交換後はもとに戻してください。

1. 電源コードを外す。

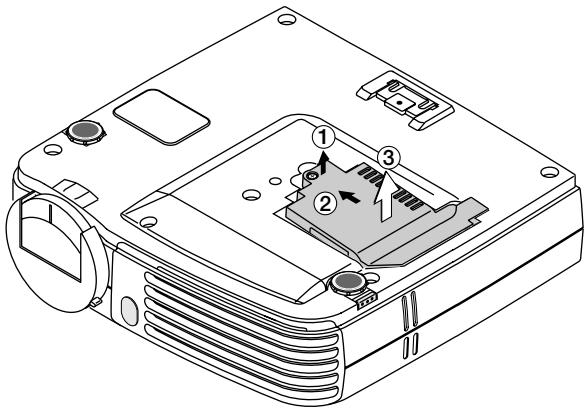
2. 本体の底面を上にする。

3. ランプカバーを外す。

（1）ランプカバーの止めネジを左へ空回りするまでゆるめます（ネジは外れません）。

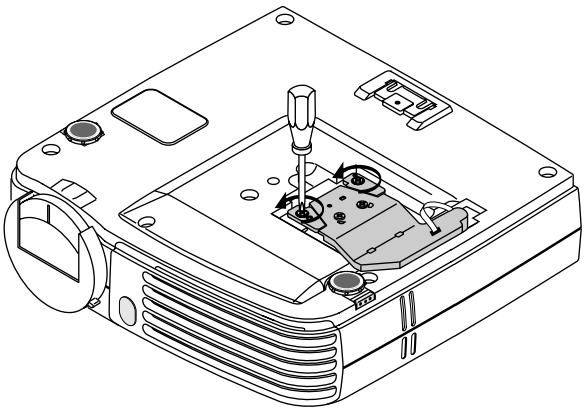


（2）ランプカバーを少し開けてから、矢印方向に引いて取り外す。

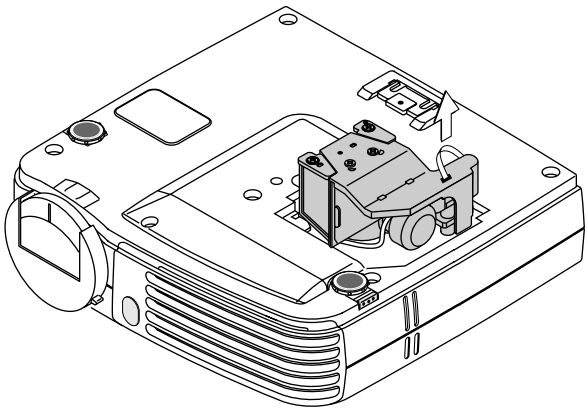


4. ランプカートリッジを取り外す

（1）ランプカートリッジのネジ2本を左へ空回りするまでゆるめます（ネジは外れません）。

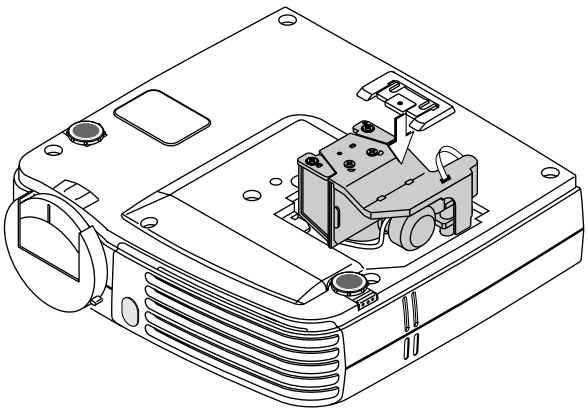


（2）ランプカートリッジの取っ手を持って上に引いて、取り外します。

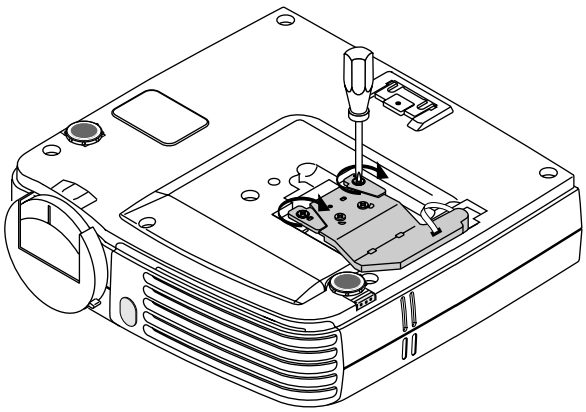


5.新しいランプカートリッジを取り付ける

（1）ランプカートリッジをゆっくり押し込みます。（本体のネジ穴に合わせてください。）

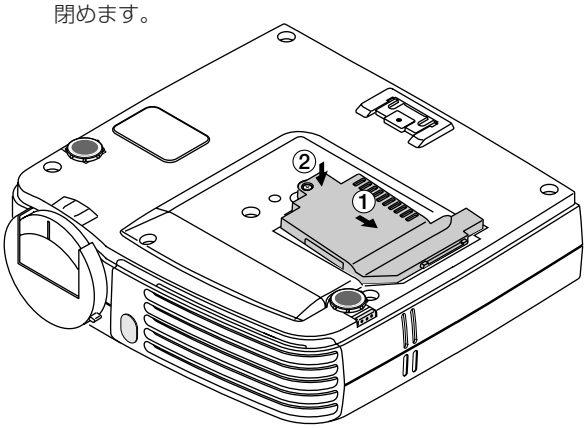


（2）ランプカートリッジのネジ2本を右へ回して締めます。

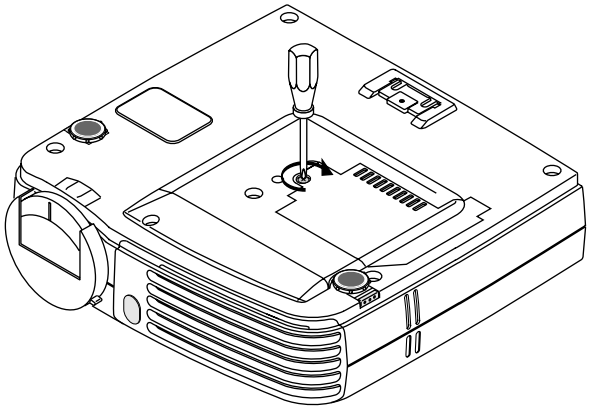


6. ランプカバーを取り付ける。

（1）ランプカバーの先を本体に入れてからランプカバーを閉めます。



（2）ランプカバーのネジを右へ回して締めます。



7. ランプ使用時間をリセットする。

電源コードを接続し、電源を入れてから行います。
メニューの［情報］→［ランプ使用時間リセット］を選択してENTERボタンを押してください。初期化確認表示に変わります。さらにENTERボタンを押します。➜57ページ「ランプ使用時間リセット」

お知らせ

- ランプ寿命から100時間使用すると電源が入らなくなります。そのような場合は、スタンバイ状態で本体のSOURCEボタンとAUTOボタンを5秒以上同時に押すとランプ使用時間がクリアされます。クリアされたかどうかは、STATUSインジケータが消灯することで確認できます。
  交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際はV-339専用交換用ランプ型名V-123（注文コード28-059）とご指定ください。

仕　様

製品型式名			V-339
投映方式			DLP™（単板DMD）方式
主要部品仕様	DMD	サイズ	0.7型
		画素数	786,432画素（1024×768）
	投映レンズ		マニュアルフォーカス／マニュアルズーム（×1.2）　F＝2.6～2.9　f＝27.5～33.0mm
	光源		130W　高圧水銀ランプ
	光学装置		ダイクロイックフィルタによる光時分割合成方式
画面サイズ		最小	26型（投映距離 1.20m テレ時）
		最大	300型（投映距離 11.81m ワイド時）
色再現性			フルカラー （1,677万色）
明るさ		標準時	1300 lm
		エコモード時	通常時の約80％の輝度で投映
コントラスト比			2000：1（フル オン・オフ）
音声出力			0.5W モノラルスピーカ内蔵
走査周波数		水平	15～80kHz
		垂直	50～85Hz
RGB入力	入力信号	信号方式	セパレート信号方式
		映像信号	アナログ：0.7Vp-p/75Ω
		同期信号	セパレート/コンポジット：TTLレベル（正／負） シンクオングリーン：0.3Vp-p 負（映像0.7Vp-p 正）
		音声信号	0.4Vrms/47kΩ
	入力端子	映像	ミニD-Sub 15ピン（YCbCr／YPbPrと共通）×1
		音声	ステレオミニジャック×1
	解像度		VGA（640×480）拡大・リアル表示 S-VGA（800×600）拡大・リアル表示 XGA（1024×768）リアル表示 S-XGA（1280×1024）圧縮表示
ビデオ入力	入力信号	信号方式	NTSC 3.58、NTSC 4.43、PAL、PAL N、PAL M、PAL60、SECAM、YCbCr(NTSC,PALのみ)、YPbPr(480p、576p、1080i、720p)：（自動またはマニュアル切換）
		映像信号	コンポジット：1.0Vp-p/75Ω、コンポーネント：1.0Vp-p/75Ω S映像：Y信号（1.0Vp-p/75Ω）、C信号（0.286Vp-p/75Ω）
		音声信号	0.4Vrms/47kΩ（RGBと共用）
	入力端子	映像	映像端子（RCA）×1、S映像端子（ミニDIN4ピン）×1
		音声	ステレオミニジャック(Φ3.5mm)×1（RGB／ビデオと共通）
	水平解像度		NTSC：550本
使用環境			動作温度：5℃～35℃　　動作湿度：30～85％（ただし結露しないこと）
電源			AC 100 V、50／60Hz
定格入力電流			1.9A
消費電力			定格：190W、エコモード時170W
外形寸法			186（幅）×46（高）×176（奥行）mm（収納時、突起部含まず）
質量			約1.3kg
付属品			ワイヤレスリモコン（ボタン電池 CR2025付）、電源コード（1.8m）、 RGB信号ケーブル（ミニDsub 15ピン 2m）、フェライトコア（2個）、キャリングケース、 取扱説明書（CD-ROM版）、取扱説明書（簡易版）、保証書、FAX発信用ユーザー登録用紙、 セキュリティシート、セキュリティラベル

- この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。
- 本製品の仕様は国内向けです。本体付属の電源コードは国内向けAC100V仕様なので海外では使用できません。日本以外で本製品を使用する場合は、販売店または、弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。また、外国では放送方式が異なりますので、よくお確かめの上ご使用ください。

対応周波数一覧表

本機はパソコンなどからの入力信号を自動で識別し、下表に対応する最適な解像度を選びます。
入力信号によっては手動での調整が必要な場合もあります。
➜45、46ページ「クロック周波数／位相／水平位置／垂直位置」をご覧ください。

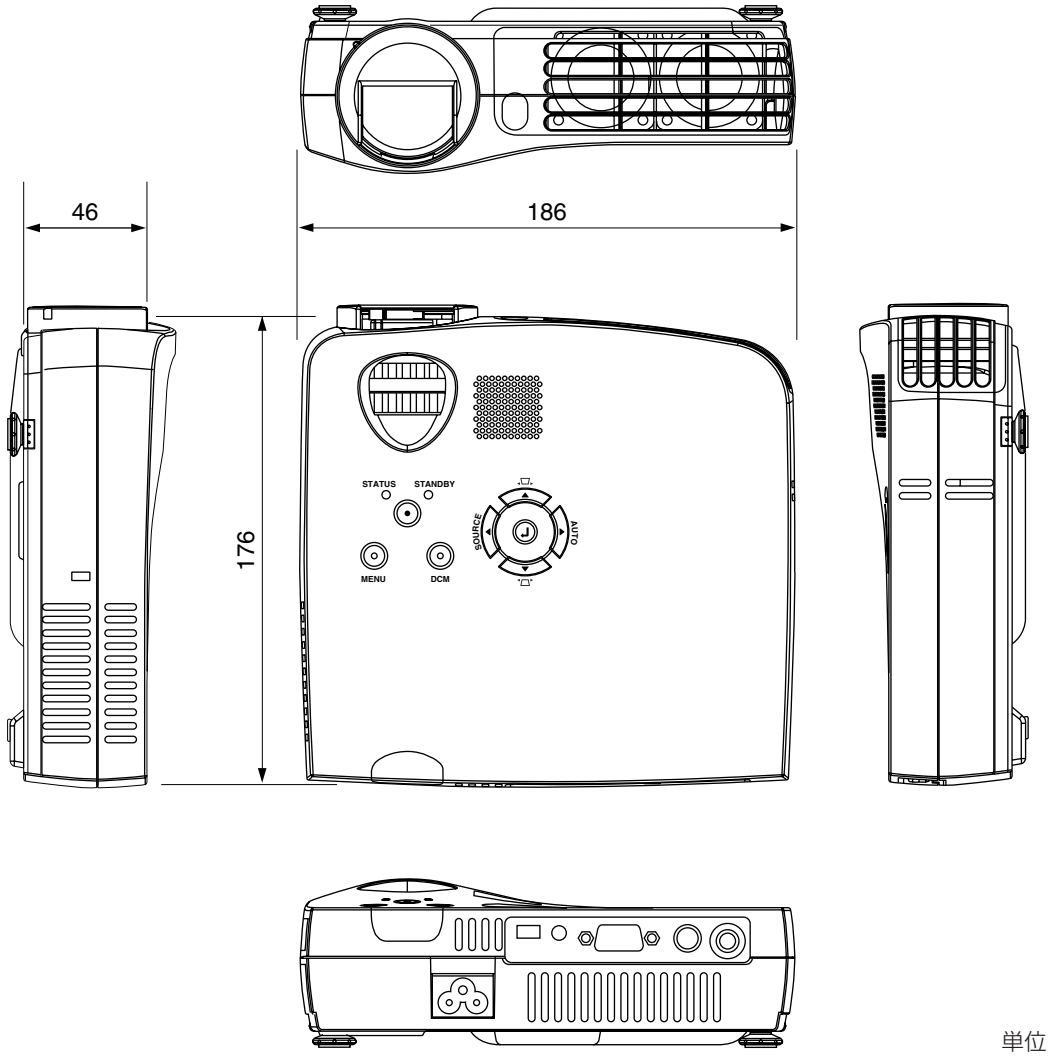
パーソナルコンピュータ	解像度	走査周波数		対応状況			
		水平（kHz）	垂直（Hz）	ビデオ	コンポーネント	デジタル	アナログ
ビデオ(NTSC)	—	15.734	60.0	○	○	—	—
ビデオ(PAL/SECAM)	—	15.625	50.0	○	○	—	—
PC/AT互換機	640 × 350	31.5	70.1	—	—	○	○
	640 × 400	31.5	70.1	—	—	○	○
	720 × 350	31.5	70.0	—	—	○	○
	720 × 400	31.5	70.0	—	—	○	○
VESA	640 × 350	37.9	85.1	—	—	○	○
	640 × 400	37.9	85.1	—	—	○	○
	720 × 400	37.9	85.0	—	—	○	○
	640 × 480	31.5	60.0	—	—	○	○
	640 × 480	37.9	72.8	—	—	○	○
	640 × 480	37.5	75.0	—	—	○	○
	640 × 480	43.3	85.0	—	—	○	○
	800 × 600	35.2	56.3	—	—	○	○
	800 × 600	37.9	60.3	—	—	○	○
	800 × 600	46.9	75.0	—	—	○	○
	800 × 600	48.1	72.2	—	—	○	○
	800 × 600	53.7	85.1	—	—	○	○
	1024 × 768	48.4	60.0	—	—	○	○
	1024 × 768	56.5	70.1	—	—	○	○
	1024 × 768	60.0	75.0	—	—	○	○
	1024 × 768	68.7	85.0	—	—	○	○
	1280 ×1024	64.0	60.0	—	—	○	○
Apple Macintosh	640 × 480	35.0	66.7	—	—	○	○
	832 × 624	49.7	74.5	—	—	○	○
	1024 × 768	60.2	74.9	—	—	○	○
	1152 × 870	68.7	75.1	—	—	○	○
HDTV（1080i）	1920 ×1080	33.8	60.0	—	○	—	—
	1920 ×1080	28.1	50.0	—	○	—	—
（720p）	1280 × 720	45.0	60.0	—	○	—	—
EDTV（576p）	720 × 576	31.3	50.0	—	○	—	—
（480p）	720 × 480	31.5	60.0	—	○	—	—
SDTV（576i）	720 × 576	31.3	50.0	—	○	—	—
（480i）	720 × 480	31.5	60.0	—	○	—	—

※Apple MacintoshのADCコネクタは非対応です。

○ 印：対応可能周波数
— 印：非対応周波数

表示画素数は1024×768ドットです。1280×1024等、1024×768ドット以外の表示解像度を表示する際、文字や罫線の大きさなどが不均一になる場合があります。

外観図



単位：mm

アフターサービス

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。お近くの販売店または弊社「カスタマーセンター」にお申し出ください。なお、保証、使い方などのご不明の点につきましても、販売店または弊社「カスタマーセンター」をご利用ください。

無料修理

故障した製品については、ご購入年月日、販売店名の記入された保証書（ご購入日より１年以内のもの）が添付されている場合には、無料修理させていただきます。その際修理は、保証書に記載されている内容の範囲内に限らせていただきます。詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料になります。保証期間内であっても、下記の様な場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または字句が書き換えられている場合。
3. 弊社または販売店以外で分解、改造されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取り扱い上の不注意（取扱説明書以外の誤操作、落下、衝撃、手掛かり、砂・泥の付着、機内部への水・砂・泥の入り込みなど）、保管上の不備（高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管）、お手入れの不備（かび発生など）により生じた故障。
6. 上記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

修理不能

浸（冠）水、強度の衝撃その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの弊社または販売店にお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社は、本プロジェクタの補修用性能部品を製造打切り後、最低８年保有しています。
（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理お申し出になる場合は、必ず保証書を添えてください。
2. ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
3. 修理箇所のご指定がないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理に関係のない付属物は、紛失などの事故をさけるため、修理品から取りはずしてお手もとに保管してください。
5. 弊社指定工場修理の場合、ご購入時の外箱に入れて梱包してください

PLUS Vision Corp.

プラスビジョン株式会社

〒170−0013 東京都豊島区東池袋4−41−24 東池袋センタービル

www.plus-vision.com

プラスビジョン カスタマーセンター

TEL 0120-331-059

NKKKQA
ISO 14001

ISO 14001 認証取得
プラスビジョン
NQE-0210118A

TÜV MANAGEMENT SERVICE ISO 9001

ISO 9001 認証取得
プラスビジョン
12 100 17398 TMS

©2005, PLUS Vision Corp.

弊社カスタマーセンターお問い合わせ方法

お問い合わせの際には下記の項目を事前にご確認ください。

- 弊社製品名、シリアル番号
- プロジェクタに接続している機器の種類
  （PC/DVD　機種名/OSバージョン）
- プロジェクタと接続している機器との接続方法
  （ケーブル類等）
- 具体的な症状
  （インジケータの点滅等）

■ プラスビジョンカスタマーセンター

TEL：0120 - 331 - 059
（携帯・PHS・衛星電話からもご利用いただけます。）

FAX：0120 - 331 - 859
➜FAXお問い合わせフォーム

URL：**http://www.plus-vision.com/jp/contact.html**